

公益社団法人日本表面真空学会
平成30年 通常総会

目 次

議 案

1. 平成29年度事業報告書の承認に関する件
 <資料1-1、1-2、1-3>
2. 平成29年度決算の承認に関する件
 <資料2-1、2-2>
3. 栄誉会員の議決に関する件
 <資料3>
4. 平成30年度役員を選任に関する件
 <資料4>
5. 定款の変更に関する件
 <資料5>

報告事項

1. 平成30年度事業計画書に関する件
 <報告1>
2. 平成30年度正味財産増減計算予算書に関する件
 <報告2>
3. その他
 <報告3>

2018年 5月13日(日)
早稲田大学国際会議場 井深大記念ホール

平成29年度事業報告書 (2017年4月～2018年3月)

1. 研究成果の検討・交流を目的とした学術講演会、研究会等の開催 (第1号事業)

1-1 通常総会

2017年5月20日、場所；東京理科大学1号館17階

*特別講演会 「ネオジム磁石—過去、現在、未来」佐川真人先生 (大同特殊鋼顧問)

*名誉会員 (名誉会員・功労会員) の推薦

*学会賞、功績賞の表彰

*フェロー 認定

*講演奨励賞 (若手研究者部門、新進研究者部門、スチューデント部門) の表彰

1-2 第37回表面科学学術講演会 (2017年真空・表面科学合同講演会)

2017年8月17日～19日、横浜市立大学金沢八景キャンパス

*特別講演・招待講演・シンポジウム講演・研究部会セッション講演・一般講演 (口頭およびポスター)

*受賞記念講演 (学会賞・論文賞・会誌賞・奨励賞・技術賞) および産業賞の展示

*講演奨励賞 (若手研究者部門・新進研究者部門・スチューデント部門) の選考

*論文賞・会誌賞・奨励賞・技術賞・産業賞の表彰

*登録システム業務契約

1-3 研究会

*第90回表面科学研究会 (日本真空学会と合同研究会) 「硬X線分電子分光の産業利用への展開と将来展望」

2018年1月18日、場所；東京理科大森戸記念館、参加者：35名

*第91回表面科学研究会 (平成29年度中部表面科学シンポジウム) 「機能性薄膜の最近の動向」

2018年1月20日、場所；名古屋工業大学、参加者：24名

(関西支部主催)

*第26回支部総会

2017年4月13日、場所；大阪府立大学 I-site なんば、参加人数：60名 (うち議決権行使31名)

特別講演会「核融合研究の歩みと未来」本島修 (中部大学学事顧問・ITER 名誉機構長・未来エネルギー研究協会会長)

*関西合同セミナー2017 (日本真空学会関西支部と合同開催) 「水素の挙動と物質科学—最近の展開—」

2017年7月6日、場所；大阪大学中之島センター、参加人数：69名 (うち講師4名)

*実用表面分析セミナー2017

2017年11月30日、場所：神戸大学百年記念館、参加人数：160名、

出展企業と団体：17社 (うち口頭発表+ポスター展示14社、ポスター展示のみ2社) と1大学 (ポスター展示)

*表面科学技術研究会2018 (表面技術協会関西支部との合同開催) 「ナノ粒子を取り巻く現状と今後の展望」

2018年1月19日、場所：島津製作所京都本社、参加人数：90名

*関西支部セミナー2018 (産業技術総合研究所との合同開催) 「イオンビームによる物性研究の新展開」

2018年2月9日、場所：産業技術総合研究所 関西センター、参加人数：30名

(中部支部主催)

*支部総会・講演会 (平成28年度)

2017年4月22日、場所；名城大学ナゴヤドーム前キャンパス、講演件数；3件、参加人数；38名

*中部支部研究会「革新的機能性材料の開発と先端顕微計測技術」

2017年11月24日、場所；静岡大学、講演件数；4件、参加人数；36名

*第17回中部支部学術講演会「若手講演会」

2017年12月16日、場所；名古屋大学、招待講演；1件、一般講演；24件、参加人数；38名

(講演奨励賞を設置し、学部・修士から3名、博士・ポスドクから1名を表彰)

*平成29年度中部表面科学シンポジウム (表面科学研究会) 「機能性薄膜の最近の動向」

2018年1月20日、場所；名古屋工業大学、講演件数；4件、参加人数；24名

(関東支部主催)

*関東支部総会・第2回関東支部講演大会

2017年4月8日、場所；東京大学 山上会館2階大会議室

*第1回支部役員会

2017年5月20日、場所：東京理科大学 1号館17階大会議室

*実用顕微鏡評価技術セミナー（本部産学連携委員会・企画委員会と共催、第2回支部役員会）

2017年6月16日、東京大学 小柴ホール

*2017 真空・表面科学合同講演会（本部主催に全面的に協力、第3回支部役員会）

2017年8月17日（木）- 8月19日（土）、場所：横浜市立大学金沢八景キャンパス

*ISSS-8（本部主催に全面的に協力、第4回支部役員会）

2017年10月22日（日）- 10月26日（木）、場所：つくば国際会議場

*第7回関東支部セミナー（東北・北海道支部 関東支部合同セミナー、第5回支部役員会）「量子ビームで見る原子層と表面」

2017年11月11日、東京大学 化学本館5階講堂

*日本表面科学会第90回表面科学研究会、日本真空学会2018年1月研究例会、

日本表面科学会第8回関東支部セミナー、（本部、日本真空学会共催、第6回支部役員会）

「硬X線光電子分光の産業利用への展開と将来展望」

2017年1月18日、東京理科大学森戸記念館 第1フォーラム

（東北・北海道支部主催）

*東北・北海道支部総会（平成29年）

2017年4月10日、場所；北海道大学と東北大学と秋田大学をテレビ会議で結んで実施

委任状37通、参加12人で49人、定足数6名なので成立

*東北・北海道支部 関東支部合同セミナー（共催）「量子ビームで見る原子層と表面」

2017年11月11日（木）9:00~17:30 場所；東京大学理学部化学本館5階講堂 参加者；64名

*平成30年東北地区若手研究者研究発表会 共催

「最近行った音・光・電波・エネルギー・システム・材料とその応用に関する調査・研究の報告、あるいは新しい手法の紹介、ならびに実験結果の報告」

2018年2月24日（土）場所；東北学院大学多賀城キャンパス

*東北・北海道支部役員会

2018年3月8日 場所；室蘭工業大学 出席7名、委任状13名、定足数15名で成立

*支部講演大会

2018年3月8-9日 場所；室蘭工業大学 招待講演8件、一般講演10件（うち学生8件）

（九州支部主催）

*九州支部総会

2017年4月8日、九州工業大学サテライト福岡天神キャンパス、出席者：13名、委任状：10名

*九州支部特別講演会

2017年4月8日、九州工業大学サテライト福岡天神キャンパス、講師；早瀬修二先生、出席者：13名

*九州表面・真空研究会2017（日本真空学会関西支部との合同開催）

2017年6月24日、佐賀大学本庄キャンパス、参加者；42名

特別講演；森田清三先生、招待講演；組頭広志先生、一般講演18件（うち学生講演奨励賞に応募12件、受賞4件）

*九州支部セミナー（動画配信含む）「本多信一先生 照射ナノカーボン材料の分光学的評価」

2018年1月29日、九州工業大学 戸畑キャンパス、参加者；30名

1-4 国際事業

*表面科学に関する国際シンポジウム（ISSS-8）実施

2017年10月22日~26日、つくば国際会議場、参加者；692名

*第2回ローラーメダル(Grand Medal, Rising Medal)表彰・招待講演（ISSS-8開催中）

*ISSS 国際諮問委員会開催（ISSS-8開催中）

*International Joint Symposiumへの招待講演者推薦

2017年8月@KVS（2名）、2017年10月（1名）

*6学会国際シンポジウム(International Joint Symposium (InJoSy-5) (TVS, KVS, VSJ, SSSJ, AVS, CVS))のH30年度学術講演会中の開催を計画

*第22回真空国際会議(IVC-22、2022年)準備（日本真空学会と協力）

*PacSurf2018（2018年12月、ハワイ）への招待講演者および助成対象若手招待講演者推薦（日本真空学会と合同で実施）

*海外在住会員向け情報誌の発行

1-5 研究部会

(ソフトナノテクノロジー研究部会)

*ISSS-8への協力: Biosurfaces and Biointerfaces セッション

2017年10月22日~26日、場所: つくば国際会議場

*国際会議への協賛

会合名: 第9回ナノ構造とナノエレクトロニクスに関する国際ワークショップ

(9th International Workshop on Nanostructures & Nanoelectronics)

主催団体: 東北大学電気通信研究所

2018年3月1日(木)~2日(金) 場所: 東北大学電気通信研究所

(電極表面科学研究部会)

*国際シンポジウム「2017 International Workshop on Electrified Interfaces for Energy Conversions (EIC2017)」(協賛)

2017年5月18日~21日、場所: 湘南国際村(横須賀市)

*電極表面部会拡大幹事会

2017年5月20日、場所: 湘南国際村(横須賀市)

(触媒表面科学研究部会)

*ISSS-8 Topical Session “Surfaces and Interface in Green Technologies”の計画・実施に協力

*国際シンポジウム”Interfacial Science for Green Innovation”の共催準備(2018年真空表面科学学術講演会開催中)

招待講演依頼 国内2件(予定)

*触媒学会界面分子変換研究会との連携強化(共催ワークショップの計画策定)

(放射光表面科学研究部会)

*表面科学第38巻11号「特集: 多様な表面科学を支える放射光」の企画(前年度)と出版(2017/11)

*ISSP Workshop「Spring-8 BL07LSUの現状と次世代軟X線科学創成への戦略」の協賛

2018/3/16(火) 東京大学物性研究所

*放射光表面科学研究部会とSPRUC 顕微ナノ材料研究会の合同シンポジウムの開催

2018/3/26月曜日-3/27(火) 東京大学物性研究所

(表面分析研究部会)

*第37回表面科学学術講演会 部会セッション「硬X線光電子分光法(ラボと放射光)」

2017年8月17日(木)、場所: 横浜市立大学、講演件数: 8件(依頼6件、一般2件)、聴講者: 50~60名

*2017年 表面分析研究部会セミナー「XPS スペクトルのデータ処理をどう理解するか？」

2017年10月27日(金) 場所: 東京大学理学部化学本館5階講堂、

講演件数: 7件(最後に、分析相談コーナーを設けた)、聴講者: 約100名

(摩擦の科学研究部会)

*電気通信大学ナノトライボロジー研究センター 第一回 シンポジウム「表面・界面の科学と摩擦」(共催)

2017年9月30日(土)、場所: 電気通信大学

*第37回表面科学学術講演会 部会セッション「さまざまな界面の摩擦・凝着制御の最前線」

2017年8月19日、場所: 横浜市立大学

*電気通信大学にナノトライボロジー研究センターの設立 記念講演会(協力)

2017年3月1日

(データ駆動表面科学研究部会)

*第37回表面科学学術講演会における部会セッション「物質設計と計測データ解析のためのデータ駆動科学の新展開」

2017年8月17日、場所: 横浜市立大学金沢八景キャンパス、参加者数約100名

*表面科学セミナー2018(実践編)「実践! マテリアルインフォマティクス 実際の作業を通して身につける材料データ科学」

2018年1月25日~26日、場所: 東京理科大学 森戸記念館、参加者数: 24名

(プローブ顕微鏡研究部会)

*第37回表面科学学術講演会 部会セッション「走査プローブ顕微鏡によるナノ表面科学の最前線」

2017年8月19日、場所: 横浜市立大学金沢八景キャンパス、依頼講演6件

*Spring-8 ユーザー協同体顕微ナノ材料科学研究会・日本表面科学会放射光表面科学研究部会・日本表面科学会プローブ顕微鏡研究部会 合同シンポジウムの開催(予定)

2018年3月26日(月)-27日(火)、場所: 東京大学物性研究所6階大講義室

2. 教育・育成を目的とした講習会、セミナー等の開催（第2号事業）

2-1 基礎講座

- *第63回表面科学基礎講座「表面・界面分析の基礎と応用」
2017年6月27日～29日、場所；東京理科大学神楽坂キャンパス、参加者：56名
- *第64回表面科学基礎講座「表面・界面分析の基礎と応用」
2017年10月17日～18日、場所；大阪大学基礎工学ホールセミナー室、参加者；35名
- *第8回社会人のための表面科学ベーシック講座
2017年9月20日～21日、場所；東京理科大学森戸記念館、参加者：26名

2-2 セミナー

- *実用顕微評価技術セミナー2017（産業連携委員会・関東支部との合同企画）
2017年6月16日、場所；東京大学小柴ホール
- *表面科学セミナー2018「実践！ マテリアルインフォマティクス 実際の作業を通して身につける材料データ科学」
2018年1月25日～26日、場所；東京理科大学森戸記念館、参加者：25名

2-3 市民講座

- *中部支部市民講座「今話題のカーボン材料ー携帯電話、自動車、宇宙産業へー」
2017年7月29日、場所；名古屋工業大学、講演件数；4件、参加人数；34名
- *第19回関西支部市民講座「人に近づく機械・機械につながる人」
2017年8月5日、場所；大阪大学豊中キャンパス、参加人数：33名（うち講師3名）
- *第3回関東支部市民講座
「すごいぞ！身のまわりの表面科学 ～ツルツル、ピカピカ、ザラザラの不思議～好評につき第2弾！ 水玉、宇宙、お肌の表面科学」
2017年10月22日、場所；つくば国際会議場 中ホール200
- *東北・北海道支部市民講座(2017年)「サイエンスカフェ in Akita」
2017年11月18日（土） 場所：カレッジプラザ 大講義室 参加人数：38名
講演①： エレクトロニクスを支えるめっき技術
講演②： 『秋田でのものづくり』にこだわる
- *九州支部市民講座「林灯先生、燃料電池自動車って、なあに？ マクロからナノスケールの構造」
2017年12月9日、アバンセ佐賀、出席者；25名

3. 研究成果の公開を目的とした学会誌、学術図書及びデータベース等の刊行（第3号事業）

3-1 会誌「表面科学」

- *会誌「表面科学」の刊行 年間12号
- *日本真空学会との合併誌を2018年1月創刊

3-2 電子ジャーナル「e-Journal of Surface Science and Nanotechnology」

- *ジャーナルVol. 15を発行（2017年1月～12月）、総頁数：134頁、通常論文：19編、AsiaNANO：2編、Errata：2編

3-3 出版

- *「Compendium of Surface and Interface Analysis」の校正を行った
- *新企画について議論を行い、表面分析図鑑の最新版の出版を目指すことになった

3-4 バーチャル表面科学・ナノテクノロジー博物館の開設

- *『表面科学の殿堂』、『身近な表面科学』の予定項目の順次公開
- *他の各展示内容の拡充

3-5 表面分析事例のデータベース公開

- *公開可能な事例の収集・整理

4. 技術者の資格認定・付与（第4号事業）

4-1 認証事業

- *第14回表面科学技術者資格認定試験（東京会場）
2017年7月20日、場所；東京大学小柴ホール、申込：23名、受験者：19名、合格者：13名

*第15回表面科学技術者資格認定試験（大阪会場）

2017年11月11日、場所；島津製作所関西支社マルチホール、申込：20名、受験者：16名、合格者：9名

*第6回表面科学専門技術者資格認定試験

2017年9月16日、場所；東京大学山上会館、受験者：0名

*第3回表面科学上級技術者資格認定試験

2017年9月16日、場所；東京大学山上会館、受験者：0名

5. その他目的を達成するために必要な事業（第5号事業）

5-1 産業連携

*維持会員・賛助会員の増強策に関して検討

*会誌広告掲載の勧誘

*本学会に関係する企業が参画する学術講演会、研究会等における企業展示会等を支援する

・第37回表面科学学術講演会（2017年真空・表面科学合同講演会）

2017年8月17日～19日、横浜市立大学金沢八景キャンパス（企業展示会場において名刺交換会の実施）

・（関西支部主催）実用表面分析セミナー2017（詳細未定）

・（関東支部主催）実用顕微評価技術セミナー2017

2017年6月16日、東京大学小柴ホール

・表面科学に関する国際シンポジウム（ISSS-8）

2017年10月22日～26日、つくば国際国際会議場（ISSS-8 Exhibition と合同での企業展示の協力）

5-2 広報

*個人会員の増強促進のための施策（入会者と紹介者へ景品を進呈）

*学会ウェブサイト管理およびコンテンツの充実

5-3 理事会で認められた事業

*各種委員会等での検討をもとに理事会で承認した事業

5-4 各種委員会の開催

理事会	6回	2017年4.5.7.8.11月	2018年2月
学術講演会委員会	1回	2017年7月、適宜電子メール会議	
企画委員会	5回	2017年6.7.11月	2018年1.3月
調査研究事業委員会		適宜、担当者間で連絡打合せ	
産業連携委員会	1回	2017年6月	
広報委員会		適宜電子メール会議	
会誌編集委員会	7回	2017年5.7.9.11.12月	2018年1.3月
出版委員会	4回	2017年7.10.11月	2018年1月
学会賞等選定委員会	2回	2017年12月	2018年1月
論文賞等選定委員会	2回	2017年4.5月	
e-Journal 編集委員会		電子メール会議	
国際事業委員会		適宜電子メール会議	
認証事業委員会	3回	2017年7.11月	2018年1月（その他WG5回）
関西支部役員会	4回	2017年4.7.11月	2018年1月
中部支部役員会	5回	2017年4.7.11.12月	2018年1月
関東支部役員会	6回	2017年5.6.8.10.11月	2017年1月
東北・北海道支部役員会	2回	2017年4月	2018年3月
九州支部	2回	2017年4.6月	適宜電子メール会議

事業報告 別紙1

H29年度 学会賞

玉田 薫 (九州大学)

受賞業績「分子およびナノ粒子の自己組織化とその応用に関する研究」

松本 吉泰 (京都大学)

受賞業績「新規レーザー分光法による吸着種の構造とダイナミックスの解明」

H29年度 功績賞

河野禎市郎 (旭化成株式会社)

H29年度 論文賞

該当なし

H29年度 会誌賞

受賞者：倉橋光紀

所 属：国立研究開発法人物質・材料研究機構

論 文：Ni (111)表面へのO₂吸着スピン・立体効果：量子状態選別酸素分子ビームによる解析

「表面科学」 Vol. 36-12 608-613

H29年度 会誌賞

受賞者：山田啓文

所 属：京都大学大学院工学研究科

論 文：周波数変調原子間力顕微鏡を用いた溶液環境下のナノスケール電位・電荷密度計測

「表面科学」 Vol. 37-10 475-481

H29年度 奨励賞

受賞者：Masahiro Ito¹ (Yoshikazu Homma¹, Makoto Akiba², Takahide Oya³)

所 属：¹Department of Physics, Faculty of Science, Tokyo University of Science、

²Department of Physics, Electrical and Computer Engineering, Graduate School of Engineering, Yokohama National University、

³Division of Intelligent Systems Engineering, Faculty of Engineering, Yokohama National University

論 文：Artifact-Metrics Using Photoluminescence Imaging of Single-Walled Carbon Nanotube Composite Paper

「e-Journal of Surface Science and Nanotechnology」 Vol. 14 185-188

H29年度 技術賞

受賞者：栗田一成、門野武、奥山亮輔、廣瀬諒、榎田亜由美、奥田秀彦、古賀祥泰

所 属：株式会社 SUMCO 技術本部 評価・基盤技術部

論 文：クラスターイオン注入によるCMOS センサのゲッターリング技術

「表面科学」 Vol. 37-3 104-109

H29年度 産業賞

受賞社：シエンタ オミクロン株式会社 (維持会員)

受賞対象：超高分解能光電子分光器と超高真空走査プローブ顕微鏡

H29 年度 講演奨励賞 (若手研究者部門、新進研究者部門、スチューデント部門)

(若手研究者部門)

梅田健一 (京都大学大学院) 講演番号 3Ap09Y

「液中動作 3D-FM-AFM および MD 計算を用いたイオン液体水溶液の溶媒和構造の解明」

吉田真明 (慶應義塾大学) 講演番号 2Dp07Y

「軟 X 線吸収分光法と赤外吸収分光法による酸素生成触媒のオペランド観測」

(新進研究者部門)

塩足亮隼 (東京大学大学院) 講演番号 3Ap08R

「原子間力顕微鏡による水分子ネットワークの高分解能観察」

宮田一輝 (金沢大学) 講演番号 3Ap10R

「高速液中 FM-AFM を用いたカルサイト溶解過程の原子分解能その場観察」

安達有輝 (大阪大学) 講演番号 2Dp13R

「FM-AFM/KPFM によるルチル型 TiO₂ (110) 表面上の局所接触電位差に関する研究」

(スチューデント部門)

西山博通 (山梨大学大学院) 講演番号 3Aa05S

「コヒーレントアンチストークスラマン分光法による燃料電池動作中の電解質膜内水分解析」

渋谷 陸 (筑波大学大学院) 講演番号 2Dp09S

「窒素含有共役系分子で修飾したグラファイト電極の酸素還元活性性能」

吉井丈晴 (大阪大学大学院) 講演番号 2Dp03S

「カーボン担持 Co 触媒における活性点構造の制御とその触媒特性」

若林 洸 (早稲田大学大学院) 講演番号 2P35S

「癌・正常細胞選別のためのマイクロ加工基板の作製と評価」

宮澤佳甫 (金沢大学大学院) 講演番号 2Cp14S

「三次元走査型力顕微鏡を用いたハードディスク用潤滑剤の分子スケール 3 次元吸着構造解析」

大向秀弥 (電気通信大学大学院) 講演番号 1P25S

「グラフェンの原子スケール剥離の異方性における真実接触部の効果」

平成 30 年度より栄誉会員 (特別名誉会員、名誉会員、功労会員)

特別名誉会員 ; 藤嶋 昭

名誉会員 ; 森田 清三

功労会員 ; 太田 英二、副島 啓義、板谷 謹悟、高萩 隆行、岩槻 正志

平成 29 年度 フェロー 認定 (1 名)

坂本一之 (千葉大学)

受賞業績「表面、原子層物質、低次元構造の新規量子物性の研究」

森川良忠 (大阪大学)

受賞業績「第一原理電子状態計算手法の高度化と表面界面反応への応用」

板倉明子 (物質・材料研究機構)

受賞業績「表面応力を利用したガス分子の検出手法とその応用」

平成 29 年度会員の動向

	2017.3.31 現在	入退会者数		2018.3.31 現在
		入会	退会	
1) 特別名誉会員	1 名	0	0	1 名
2) 名誉会員	24 名	1	0	25 名
3) 功労会員	55 名	2	0	57 名
4) 正会員	1326 名	87	76	1337 名
5) 学生会員	456 名	100	170	386 名
6) 維持会員	10 社	0	0	10 社
口数	10 口	0	0	10 口
7) 賛助会員	60 社	1	7	54 社
口数	64 口	1	8	57 口
8) 購読会員	39 社	1	3	37 社
口数	40 口	2	3	39 口
合(1+2+3+4+5)	1862 名	190	246	1806 名
計 (6+7+8)	109 社	2	10	101 社

入会：復活 6 名（正 3 名、学 3 名）含む

入会・退会：正→名 1 名、正→功 2 名、学→正 10 名、正→学 1 名に変更含む

平成29年度開催 他学協会協賛等一覧表

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

開催日	会 合 名	主催学会名
平成29年		
6/16	平成29年度第1回表面物性研究会	表面技術協会関西支部
6/20	第一回結晶成長基礎セミナー	日本結晶成長学会
6/23	第96回金属のアノード酸化皮膜の機能化部会 (ARS) 例会	表面技術協会 金属のアノード酸化皮膜の機能化部会 (ARS)
6/26	平成29年度学術講演大会	日本材料科学会
6/30	第36回光がかかわる触媒化学シンポジウム	触媒学会 (光触媒研究会)
7/18	腐食防食部門委員会 第317回例会	日本材料学会
7/27-28	第48回トライボロジー入門講座	日本トライボロジー学会
8/4-6	第20回 XAFS 討論会	日本 XAFS 研究会
8/24-25	第9回「役に立つ真空技術入門講座」	日本真空学会関西支部
8/24-26	第11回プラズマエレクトロニクスインキュベーションホール 応用物理学会 プラズマエレクトロニクス分科会	
8/28-29	熱測定サマースクール2017 (第79回熱測定講習会)	日本熱測定学会
8/29-9/1	第57回 (2017年度) 真空夏季大学	日本真空学会
8/30	第14回日本写真学会光機能性材料セミナー	日本写真学会 光機能性材料研究会
9/4-5	電気化学セミナー3	電気化学会
9/4-5	SPring-8 シンポジウム2017 SPring-8 ユーザー協同体 (SPRUC), 高輝度光科学研究センター, 理化学研究所, 広島大学	
9/5-6	第33回分析電子顕微鏡討論会	日本顕微鏡学会 分析電子顕微鏡分科会
9/6-8	第68回コロイドおよび界面化学討論会 日本化学会 コロイドおよび界面化学部会 神戸大学工学研究科界面科学研究センター	
9/6-8	VACUUM2017 真空展	日本真空工業会, 日本真空学会
9/8	第74回技術セミナー	腐食防食学会
9/25	第97回金属のアノード酸化皮膜の機能化部会 (ARS) 例会 表面技術協会 金属のアノード酸化皮膜の機能化部会 (ARS)	
9/26	2017年9月研究例会	日本真空学会
9/26	真空技術入門講座「真空技術の基礎と応用」	日本真空学会
9/27	TGSW2017 シンポジウム「エネルギーイノベーションのための触媒の科学と技術」 筑波大学	
9/29	講演会「マテリアルズ・インフォマティクスとAIを用いたものづくり」 日本化学会関東支部	
10/11	腐食防食部門委員会 第318回例会	日本材料学会
10/12-13	炭素材料学会基礎講習会	炭素材料学会
10/13	コロイド先端技術講座2017	日本化学会コロイドおよび界面化学部会
10/19-20	平成26年～平成30年度 新学術領域研究「 π 造形科学：電子と構造のダイナミズム 制御による新機能創出」第4回公開シンポジウム 新学術領域科学「 π 造形科学」	
10/20	早稲田大学各務記念材料技術研究所オープンセミナー 早稲田大学各務記念材料技術研究所	
10/21	IQCE 量子化学探索講演会2017	量子化学探索研究所
10/23	平成29年度第2回表面物性研究会	表面技術協会関西支部
10/26-27	第10回トライボロジー入門西日本講座	日本トライボロジー学会
10/26-27	平成29年度材料科学基礎講座	日本材料科学会
10/27	第17回高分子表面研究討論会	高分子学会 高分子表面研究会

開催日	会 合 名	主催学会名
10/27-28	第10回新電極触媒シンポジウム&宿泊セミナー	触媒学会 燃料電池関連触媒研究会
10/30	第34回金属のアノード酸化皮膜の機能化部会 (ARS) 松島コンファレンス	表面技術協会 金属のアノード酸化皮膜の機能化部会 (ARS)
11/1-2	第58回秋期ゴム技術講習会	日本ゴム協会関東支部
11/1-2	第5回分散凝集科学技術講座「分散・凝集のすべて」	日本化学会 コロイドおよび界面化学部会
11/2-4	8th International and 10th Japan-China Joint Symposium on Calorimetry (CATS-2017)	日本熱測定学会
11/4-6	第53回熱測定討論会	日本熱測定学会
11/8-9	第9回岩澤コンファレンス	第9回岩澤コンファレンス実行委員会
11/8-10	The 36th Electronic Materials Symposium (EMS36)	電子材料シンポジウム運営・実行委員会
11/13-14	膜シンポジウム2017「膜を創る・知る・操る」	日本膜学会
11/15-18	トライボロジー会議2017秋 高松	日本トライボロジー学会
11/16-17	The 39th International Symposium on Dry Process (DPS2017)	第39回ドライプロセス国際シンポジウム組織委員会
11/16-17	第19回関西表面技術フォーラム	表面技術協会関西支部
11/17	第46回薄膜・表面物理 基礎講座 (2017)	応用物理学会 薄膜・表面物理分科会
11/17	日本写真学会主催第5回アンビエント技術セミナー	日本写真学会アンビエント技術研究会
11/20	日本希土類学会第35回講演会	日本希土類学会
11/20-22	第31回ダイヤモンドシンポジウム	ニューダイヤモンドフォーラム
11/21-22	第36回固体・表面光化学討論会	固体・表面光化学討論会
11/21-23	第95回2017年度秋季低温工学・超電導学会	低温工学・超電導学会
11/24	腐食防食部門委員会 第319回例会	日本材料学会
11/27-28	第4回 電池材料解析ワークショップ 科学技術振興機構 (JST) 環境エネルギー研究開発推進部, 先端的低炭素化技術開発 次世代蓄電池研究加速プロジェクト (ALCA-SPRING), 物質・材料研究機構 ナノ材料科学環境拠点 (GREEN)	
12/4-5	第8回分子アーキテクトニクス研究会	日本化学会分子アーキテクトニクス研究会
12/5	日本真空学会 2017年12月研究例会	日本真空学会
12/6-8	第44回炭素材料学会年会	炭素材料学会
12/7-8	日常的な分析業務における JIS 並びに ISO 規格の利用ー表面分析実用化セミナー'17ー	表面分析研究会
12/7-9	薄膜・表面物理分科会特別研究会「走査型プローブ顕微鏡(31)&ICSPM25」	応用物理学会
12/8	第27回キャラクターゼーション講習会	触媒学会
12/11-12	第14回ノートパソコンで出来る原子レベルのシミュレーション入門講習会	日本材料学会
12/15-16	第18回「イオンビームによる表面・界面解析」特別研究会	応用物理学会 薄膜・表面物理分科会
平成30年		
1/10-14	Symposium on Surface and Nano Science 2018 (SSNS'18)	応用物理学会 薄膜・表面物理分科会
1/19-20	第23回電子デバイス界面テクノロジー研究会	応用物理学会 薄膜・表面物理分科会, シリコンテクノロジー分科会
1/22	第26回放射線利用総合シンポジウム	大阪ニュークリアサイエンス協会

開催日	会 合 名	主催学会名
1/24	KAST 教育講座「塗る、刷る、printable!-進化するナノインクと先端デバイス技術」 コース	神奈川県立産業技術総合研究所
1/24	腐食防食部門委員会 第 320 回例会	日本材料学会
1/25-26	第 35 回コロイド・界面技術シンポジウム	日本化学会 コロイドおよび界面化学部会
1/26	炭素材料学会 1 月セミナー	炭素材料学会
1/26	日本真空学会関西支部 第 10 回実用技術セミナー	日本真空学会関西支部
1/26	17-1 高分子表面研究会	高分子学会 高分子表面研究会
1/29	2018 産業技術総合研究所中部センター研究講演会	産業技術総合研究所中部センター
1/31-2/14	「難削材・高機能材料の高付加価値加工技術」コース	神奈川県立産業技術総合研究所
2/14-16	ASTEC2018 第 13 回先端表面技術展・会議	ASTEC 実行委員会
2/16	第 16 回ナノテクノロジー総合シンポジウム (JAPAN NANO 2018) 文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム, 物質・材料研究機構 ナノテクノロジープラットフォームセンター	
2/16	国際コーティングシンポジウム	先進コーティングアライアンス
2/16	2017 年度ガラス表面・分析研究討論会	日本セラミックス協会 ガラス部門 表面・分析分科会
2/20	アドバンテックセミナー2018	日本ゴム協会関東支部
2/23	第 20 回「トライボコーティングの現状と将来」シンポジウム トライボコーティング技術研究会,理化学研究所 大森素形材工学研究室,板橋区	
3/1-2	第 9 回ナノ構造とナノエレクトロニクスに関する国際ワークショップ	東北大学電気通信研究所
3/2-4	2017 年度量子ビームサイエンスフェスタ J-PARC センター, 高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所, 総合科学研究機構, PF-ユーザアソシエーション, J-PARC MLF 利用者懇談会	
3/4-8	10th International Symposium on Advanced Plasma Science and its Application for Nitrides and Nanomaterials/11th International Conference on Plasma-Nano Technology & Science (ISPlasma2018/IC-PLANTS2018)	応用物理学会
3/5	KAST 教育講座「血液でも、涙でも-“紙一枚”で健康診断?ペーパーマイクロ分析 ツプの技術と可能性」コース	神奈川県立産業技術総合研究所
3/8-9	熱測定スプリングスクール 2018 (第 80 回熱測定講習会)	日本熱測定学会
3/14-15	IIP2018 情報・知能・精密機器部門 (IIP 部門) 講演会	日本機械学会 情報・知能・精密機器部門
3/28	腐食防食部門委員会 第 321 回例会	日本材料学会
3/30	第 2 回陽電子回折研究会	KEK 物構研 PF 低速陽電子実験グループ

平成 30 年度開催 他学協会協賛等一覧表

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

開催日	会 合 名	主催学会名
平成 30 年		
5/8-9	日本膜学会第 40 年会	日本膜学会
5/10-11	界面コロイドラーニング～第 34 回現代コロイド・界面化学基礎講座～(東京会場) 日本化学会 コロイドおよび界面化学部会	
5/10-12	ナノ学会第 16 回大会	ナノ学会
5/15-16	第 34 回希土類討論会	日本希土類学会
5/21	腐食防食部門委員会 第 322 回例会	日本材料学会
5/21-23	トライボロジー会議 2018 春 東京	日本トライボロジー学会
5/28-30	第 96 回 2018 年度春季 低温工学・超電導学会	低温工学・超電導学会

開催日	会 合 名	主催学会名
6/14-15	界面コロイドラーニング～第34回現代コロイド・界面化学基礎講座～(大阪会場)	日本化学会 コロイドおよび界面化学部会
6/15	第99回金属のアノード酸化皮膜の機能化部会 (ARS) 例会	表面技術協会・金属のアノード酸化皮膜の機能化部会 (ARS)
6/20-22	第29回キャタリシススクール	触媒学会
6/29	第36回高分子表面研究会講座	高分子学会 高分子表面研究会
7/3-4	第28回電子顕微鏡大学	日本顕微鏡学会
7/3-5	第21回 X 線分析講習会 蛍光 X 線分析の実際 (第10回)	日本分析化学会 X 線分析研究懇談会
7/9-13	第31回国際真空ナノエレクトロニクス会議 (IVNC2018)	日本学術振興会 真空ナノエレクトロニクス 158 委員会
7/25-27	Water on Materials Surface 2018 (WMS2018)	東京理科大学総合研究院ウォーターフロンティア&テクノロジー研究センター
7/27	第46回薄膜・表面物理セミナー (2018)	応用物理学会 薄膜・表面物理分科会
9/3-6	HWCVD10 "10th International Conference on Hot Wire (Cat) and Initiated Chemical Vapor Deposition"	Cat-CVD 研究会
10/25-26	第54回 X 線分析討論会	日本分析化学会 X 線分析研究懇談会
11/9	第21回ミレニアム・サイエンス・フォーラム	ミレニアム・サイエンス・フォーラム
11/13-16	31st International Microprocesses and Nanotechnology Conference (MNC2018)	応用物理学会

平成29年度開催 他学協会共催一覧表

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

開催日	会 合 名	主催学会名
平成29年 10/27	第8回真空・表面科学若手研究会	真空・表面科学若手研究会実行委員会

貸借対照表

平成30年3月31日

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1.流動資産			
現金預金	42,974,383	35,646,727	7,327,656
未収会費	872,000	738,000	134,000
未収金	365,500	314,500	51,000
仮払金	18,047	384,063	△ 366,016
流動資産合計	44,229,930	37,083,290	7,146,640
2.固定資産			
(1)基本財産			
定期預金	20,000,000	20,000,000	0
基本財産合計	20,000,000	20,000,000	0
(2)特定資産			
周年記念事業引当預金	5,500,000	5,500,000	0
国際会議引当預金	10,000,000	8,500,000	1,500,000
若手育成基金引当預金	2,250,000	2,250,000	0
退職給付引当預金	765,000	705,000	60,000
関西支部周年事業引当預金	0	439,459	△ 439,459
ローラーメタル表彰事業引当預金	12,774,872	13,393,504	△ 618,632
特定資産合計	31,289,872	30,787,963	501,909
(3)その他固定資産			
什器備品	4	4	0
電話加入権	81,283	81,283	0
差入保証金	2,345,241	1,425,000	920,241
国際会議前払金	0	7,648,000	△ 7,648,000
その他固定資産合計	2,426,528	9,154,287	△ 6,727,759
固定資産合計	53,716,400	59,942,250	△ 6,225,850
資産合計	97,946,330	97,025,540	920,790
II 負債の部			
1.流動負債			
未払金	1,274,277	1,426,425	△ 152,148
前受金	11,919,000	12,538,000	△ 619,000
前受収益	210,000	245,000	△ 35,000
預り金	72,198	73,729	△ 1,531
流動負債合計	13,475,475	14,283,154	△ 807,679
2.固定負債			
退職給付引当金	765,000	705,000	60,000
固定負債合計	765,000	705,000	60,000
負債合計	14,240,475	14,988,154	△ 747,679
III 正味財産の部			
1.指定正味財産			
寄付金	32,774,872	33,393,504	△ 618,632
指定正味財産合計	32,774,872	33,393,504	△ 618,632
(うち基本財産への充当額)	(20,000,000)	(20,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(12,774,872)	(13,393,504)	(△618,632)
2.一般正味財産	50,930,983	48,643,882	2,287,101
(うち特定資産への充当額)	(17,750,000)	(16,689,459)	(1,060,541)
正味財産合計	83,705,855	82,037,386	1,668,469
負債及び正味財産合計	97,946,330	97,025,540	920,790

正味財産増減計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
基本財産運用益	2,000	5,012	△ 3,012
基本財産受取利息	2,000	5,012	△ 3,012
受取会費	17,580,000	17,984,000	△ 404,000
正会員受取会費	12,930,000	12,852,000	78,000
学生会員受取会費	630,000	752,000	△ 122,000
維持会員受取会費	1,000,000	1,000,000	0
賛助会員受取会費	2,240,000	2,560,000	△ 320,000
購読会員受取会費	780,000	820,000	△ 40,000
事業収益	44,815,730	23,055,433	21,760,297
受取参加費	28,266,500	10,640,000	17,626,500
受取広告料	3,456,680	4,023,200	△ 566,520
受取ブース出展料	7,937,800	4,665,800	3,272,000
受取投稿料	2,145,500	150,500	1,995,000
受取別刷頒布代	1,516,000	1,918,000	△ 402,000
受取会誌頒布代	982,320	1,058,450	△ 76,130
受取出版物頒布代	223,950	191,200	32,750
受取著作権料	116,612	156,122	△ 39,510
受取出版物印税	170,368	252,161	△ 81,793
受取補助金等	12,745,000	1,200,000	11,545,000
受取国庫補助金	7,400,000	1,200,000	6,200,000
受取補助金	4,500,000	0	4,500,000
受取地方補助金	845,000	0	845,000
受取寄付金	1,718,632	0	1,718,632
受取寄付金振替額	1,718,632	0	1,718,632
雑収益	2,211,993	820,557	1,391,436
名簿頒布収益	8,000	48,000	△ 40,000
受取利息	2,148	2,811	△ 663
雑収益	2,201,845	769,746	1,432,099
経常収益計	79,073,355	43,065,002	36,008,353
(2)経常費用			
事業費	72,849,135	36,615,541	36,233,594
給料手当	11,668,640	4,716,540	6,952,100
臨時雇賃金	1,111,607	506,400	605,207
福利厚生費	972,876	993,325	△ 20,449
退職金共済掛金	108,000	108,000	0
会議費	51,501	129,752	△ 78,251
旅費交通費	3,483,356	3,471,440	11,916
通信運搬費	3,248,569	2,179,005	1,069,564
消耗品費	1,375,411	619,828	755,583
消耗什器備品費	1,009,001	0	1,009,001
印刷製本費	10,134,474	9,674,812	459,662
光熱水料費	213,768	130,503	83,265
リース料	594,494	177,730	416,764
賃借料	7,009,479	1,893,946	5,115,533
諸謝金	1,934,924	1,430,818	504,106
租税公課	853,900	812,000	41,900
負担金	202,701	373,196	△ 170,495
助成金	0	215,000	△ 215,000
委託費	13,068,651	2,372,813	10,695,838
会場費	6,839,812	2,918,199	3,921,613
支払手数料	212,537	235,268	△ 22,731

雑費	8,755,434	3,656,966	5,098,468
管理費	3,937,119	3,462,101	475,018
役員報酬	186,220	155,275	30,945
給料手当	307,960	524,060	△ 216,100
臨時雇賃金	91,000	0	91,000
退職給付引当金繰入額	60,000	60,000	0
退職金共済掛金	12,000	12,000	0
福利厚生費	108,097	110,369	△ 2,272
旅費交通費	70,434	60,696	9,738
支払報酬	385,760	364,752	21,008
会議費	1,500,051	1,484,122	15,929
通信運搬費	31,645	36,667	△ 5,022
印刷製本費	3,650	6,336	△ 2,686
賃借料	322,053	210,438	111,615
名簿刊行費	410	656	△ 246
消耗品費	29,106	8,816	20,290
消耗什器備品費	112,111	0	112,111
光熱水料費	23,752	14,500	9,252
支払手数料	14,867	15,125	△ 258
リース料	5,968	3,489	2,479
租税公課	2,550	800	1,750
雑費	227,485	28,000	199,485
雑損失	442,000	366,000	76,000
経常費用計	76,786,254	40,077,642	36,708,612
当期経常増減額	2,287,101	2,987,360	△ 700,259
2. 経常外増減の部			
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	2,287,101	2,987,360	△ 700,259
一般正味財産期首残高	48,643,882	45,656,522	2,987,360
一般正味財産期末残高	50,930,983	48,643,882	2,287,101
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	1,100,000	12,315,004	△ 11,215,004
一般正味財産への振替額	△ 1,718,632	0	△ 1,718,632
当期指定正味財産増減額	△ 618,632	12,315,004	△ 12,933,636
指定正味財産期首残高	33,393,504	21,078,500	12,315,004
指定正味財産期末残高	32,774,872	33,393,504	△ 618,632
III 正味財産期末残高	83,705,855	82,037,386	1,668,469

正味財産増減計算書内訳表
平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
	表面科学の普及・育成事業			
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	2,000	0		2,000
基本財産受取利息	2,000	0		2,000
受取会費	12,306,000	5,274,000		17,580,000
正会員受取会費	9,051,000	3,879,000		12,930,000
学生会員受取会費	441,000	189,000		630,000
維持会員受取会費	700,000	300,000		1,000,000
賛助会員受取会費	1,568,000	672,000		2,240,000
購読会員受取会費	546,000	234,000		780,000
事業収益	44,815,730	0		44,815,730
受取参加費	28,266,500	0		28,266,500
受取広告料	3,456,680	0		3,456,680
受取ブース出展料	7,937,800	0		7,937,800
受取投稿料	2,145,500	0		2,145,500
受取別刷頒布代	1,516,000	0		1,516,000
受取会誌頒布代	982,320	0		982,320
受取出版物頒布代	223,950	0		223,950
受取著作権料	116,612	0		116,612
受取出版物印税	170,368	0		170,368
受取補助金	12,745,000	0		12,745,000
受取国庫補助金	7,400,000	0		7,400,000
受取補助金	4,500,000	0		4,500,000
受取地方補助金	845,000	0		845,000
受取寄付金	1,718,632	0		1,718,632
受取寄付金振替額	1,718,632	0		1,718,632
雑収益	2,176,021	35,972		2,211,993
名簿頒布収益	0	8,000		8,000
受取利息	176	1,972		2,148
雑収益	2,175,845	26,000		2,201,845
経常収益計	73,763,383	5,309,972		79,073,355
(2) 経常費用				
事業費	72,849,135	0		72,849,135
給料手当	11,668,640	0		11,668,640
臨時雇賃金	1,111,607	0		1,111,607
福利厚生費	972,876	0		972,876
退職金共済掛金	108,000	0		108,000
会議費	51,501	0		51,501
旅費交通費	3,483,356	0		3,483,356
通信運搬費	3,248,569	0		3,248,569
消耗品費	1,375,411	0		1,375,411
消耗什器備品費	1,009,001	0		1,009,001
印刷製本費	10,134,474	0		10,134,474
光熱水料費	213,768	0		213,768
リース料	594,494	0		594,494
賃借料	7,009,479	0		7,009,479
諸謝金	1,934,924	0		1,934,924
租税公課	853,900	0		853,900
負担金	202,701	0		202,701
委託費	13,068,651	0		13,068,651
会場費	6,839,812	0		6,839,812
支払手数料	212,537	0		212,537
雑費	8,755,434	0		8,755,434
管理費	0	3,937,119		3,937,119
役員報酬	0	186,220		186,220
給料手当	0	307,960		307,960
臨時雇賃金	0	91,000		91,000
退職給付引当金繰入額	0	60,000		60,000
退職金共済掛金	0	12,000		12,000
福利厚生費	0	108,097		108,097
旅費交通費	0	70,434		70,434

支払報酬	0	385,760		385,760
会議費	0	1,500,051		1,500,051
通信運搬費	0	31,645		31,645
印刷製本費	0	3,650		3,650
賃借料	0	322,053		322,053
名簿刊行費	0	410		410
消耗品費	0	29,106		29,106
消耗什器備品費	0	112,111		112,111
光熱水料費	0	23,752		23,752
支払手数料	0	14,867		14,867
リース料	0	5,968		5,968
租税公課	0	2,550		2,550
雑費	0	227,485		227,485
雑損失	0	442,000		442,000
経常費用計	72,849,135	3,937,119		76,786,254
当期経常増減額	914,248	1,372,853		2,287,101
2. 経常外増減の部				
当期経常外増減額	0	0		0
当期一般正味財産増減額	914,248	1,372,853		2,287,101
一般正味財産期首残高				48,643,882
一般正味財産期末残高				50,930,983
II 指定正味財産増減の部				
受取寄付金	1,100,000	0		1,100,000
一般正味財産への振替額	△ 1,718,632	0		△ 1,718,632
当期指定正味財産増減額	△ 618,632	0		△ 618,632
指定正味財産期首残高				33,393,504
指定正味財産期末残高				32,774,872
III 正味財産期末残高				83,705,855

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
定額法によっている。
- (2) 引当金の計上基準
退職給付引当金・・・期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。
- (3) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	20,000,000	0	0	20,000,000
小 計	20,000,000	0	0	20,000,000
特定資産				
周年記念事業引当預金	5,500,000	0	0	5,500,000
国際会議引当預金	8,500,000	1,500,000	0	10,000,000
若手育成基金引当預金	2,250,000	0	0	2,250,000
退職給付引当預金	705,000	60,000	0	765,000
関西支部周年事業引当預金	439,459	0	439,459	0
ローレルメダル表彰事業引当預金	13,393,504	1,100,000	1,718,632	12,774,872
小 計	30,787,963	2,660,000	2,158,091	31,289,872
合 計	50,787,963	2,660,000	2,158,091	51,289,872

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対 応する額)
基本財産				
定期預金	20,000,000	(20,000,000)	—	—
小 計	20,000,000	(20,000,000)	—	—
特定資産				
周年記念事業引当預金	5,500,000	—	(5,500,000)	—
国際会議引当預金	10,000,000	—	(10,000,000)	—
若手育成基金引当預金	2,250,000	—	(2,250,000)	—
退職給付引当預金	765,000	—	—	(765,000)
ローレルメダル表彰事業引当預金	12,774,872	(12,774,872)	—	—
小 計	31,289,872	(12,774,872)	(17,750,000)	(765,000)
合 計	51,289,872	(32,774,872)	(17,750,000)	(765,000)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	803,960	803,956	4
合 計	803,960	803,956	4

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
国庫補助金	日本学術振興会	0	7,400,000	7,400,000	0	
補助金	新技術開発財団	0	4,500,000	4,500,000	0	
地方補助金	つくば観光コンベンション協会	0	845,000	845,000	0	
合 計		0	12,745,000	12,745,000	0	

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
目的達成による指定解除額	1,718,632
合 計	1,718,632

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	定期預金	20,000,000	0	0	20,000,000
特定資産	周年記念事業引当預金	5,500,000	0	0	5,500,000
	国際会議引当預金	8,500,000	1,500,000	0	10,000,000
	若手育成基金引当預金	2,250,000	0	0	2,250,000
	退職給付引当預金	705,000	60,000	0	765,000
	関西支部周年事業引当預金	439,459	0	439,459	0
	ローマ・マル表彰事業引当預金	13,393,504	1,100,000	1,718,632	12,774,872
	特定資産計	30,787,963	2,660,000	2,158,091	31,289,872

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	705,000	60,000	0	0	765,000

財 産 目 録

平成30年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金として	31,739
	本部		27,859
預金	放射光研究部会	運転資金として	3,880
	郵便振替貯金		10,051,284
	本郷四局160-6-84613		5,260,820
	本郷局140-4-5161		3,243,692
	本郷局150-7-5390		1,480,680
	本郷四局00100-3-623379		66,092
	普通預金	運転資金として	32,891,360
	みずほ銀行本郷支店1055846		22,476,926
	りそな銀行本郷支店1342251		109,464
	三菱東京UFJ銀行本郷支店4654138		127,839
	みずほ銀行本郷支店1469020		3,148,116
	みずほ銀行本郷支店2720673		903,228
	みずほ銀行本郷支店2720703		664,429
	三菱東京UFJ銀行本郷支店0093378		5
	みずほ銀行本郷支店2720711		585,099
	みずほ銀行本郷支店2973407		2,921,958
	みずほ銀行本郷支店2990271		492,899
	みずほ銀行本郷支店2794413		352,070
	みずほ銀行本郷支店2794421		172,673
	みずほ銀行本郷支店2794464		118,241
	みずほ銀行本郷支店2794448		113,900
	みずほ銀行本郷支店2794456		80,057
	みずほ銀行本郷支店2831815		239,564
	みずほ銀行本郷支店4032146		100,000
	みずほ銀行本郷支店4032154		284,892
未収会費		H28.29年度会費166件	872,000
未収金		別刷代金3口、広告料5口	365,500
仮払金		第65回基礎費用、研究部会源泉税、2018年学術講演会交通費	18,047
流動資産合計			44,229,930
(固定資産)			
基本財産	預金	定期預金	公益目的保有財産であり、運用益を公益事業の財源として使用している
		りそな銀行本郷支店	20,000,000
		三菱東京UFJ銀行本郷支店	10,000,000
特定資産	周年記念事業引当預金	定期預金/みずほ銀行本郷支店	周年事業の積立資産であり、周年事業の準備資金として管理されている預金
			5,500,000
	国際会議引当預金	定期預金/みずほ銀行本郷支店	国際会議事業の積立資産であり、国際会議事業の準備資金として管理されている預金
			10,000,000
	若手育成基金引当預金	定期預金/みずほ銀行本郷支店	若手育成事業の積立資産であり、若手育成事業の準備資金として管理されている預金
			2,250,000
	退職給付引当預金	定期預金/みずほ銀行本郷支店	退職給付の積立資産であり、退職給付の準備資金として管理されている預金
			765,000
	ロータリー表彰引当預金	普通預金/みずほ銀行本郷支店	ロータリー表彰の積立資産であり、表彰の準備資金として管理されている預金
			12,774,872
その他固定資産	什器備品		4
	電話加入権		81,283
	差入保証金		事務所借上敷金
			2,345,241
固定資産合計			53,716,400
資産合計			97,946,330
(流動負債)			
	未払金		会誌印刷費用、学術講演会会場費、消費税
	前受金		H30年度会費1,038口、H31年度会費24口、H32年度会費3口、H33年度会費1口
	前受収益		会誌広告
	預り金		源泉所得税他
			1,274,277
			11,919,000
			210,000
			72,198
流動負債合計			13,475,475
(固定負債)			
	退職給付引当金		従業員2名に対する退職金の支払いに備えたもの
			765,000
固定負債合計			765,000
負債合計			14,240,475
正味財産			83,705,855


監査報告書


平成30年4月14日

公益社団法人日本表面科学会
会長 大門 寛 殿

公益社団法人日本表面科学会

監事 田澤 豊彦 

監事 荻野 俊郎 

監事 染野 光宏 

私たち監事は、公益社団法人日本表面科学会（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）の会計及び業務の監査を行いました。その結果につき次のとおり報告します。

1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査については、会計帳簿及び関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて、財務諸表などの正確性を検討しました。
- (2) 業務監査については、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を徴収し、関係書類など必要と思われる監査手続を用いて、業務執行の妥当性を検討しました。

2. 監査意見

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書、正味財産増減計算書内訳表、財務諸表に対する注記、附属明細書及び財産目録は、会計帳簿の金額と一致し、法人の収支状況及び財政状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 事業報告書の内容は、真実であると認めます。
- (3) 理事の業務執行に関する不正の行為又は定款に違反する重大な事実はないと認めます。

以上

この写は原本と相違ないことを証明する。

平成30年4月21日

会長 大門 寛



栄誉会員の推挙

特別名誉会員

藤嶋 昭 (東京理科大学)

名誉会員

森田 清三 (金沢大学)

功労会員

太田 英二 (慶應義塾大学)

副島 啓義 (株式会社応用科学研究所)

板谷 謹悟 (東北大学)

吉野 隆子 (千葉大学)

高萩 隆行 (広島大学)

岩槻 正志 (日本電子株式会社)

公益社団法人日本表面真空学会

平成 30 年度理事および監事の選任

- 【理事】 赤木 和人 (東北大学)
新井 健太 (産業技術総合研究所)
荒川 一郎 (学習院大学)
板倉 明子 (物質・材料研究機構)
大岩 烈 (シエンタ オミクロン)
嘉数 誠 (佐賀大学)
河原 敏男 (中部大学)
木口 学 (東京工業大学)
倉林 徹 (秋田大学)
黒岩 雅英 (東京電子)
桑原 裕司 (大阪大学)
粉川 良平 (島津製作所)
重川 秀実 (筑波大学)
関口 敦 (工学院大学)
大門 寛 (奈良先端科学技術大学院大学)
高橋 主人 (元大島商船高等専門学校)
玉田 薫 (九州大学)
辻村 学 (荏原製作所)
中嶋 健 (東京工業大学)
長谷川修司 (東京大学)
福井 賢一 (大阪大学)
福谷 克之 (東京大学)
藤田 大介 (物質・材料研究機構)
道園真一郎 (高エネルギー加速器研究機構)
吉信 淳 (東京大学)
渡邊 聡 (東京大学)

- 【監事】 荻野 俊郎 (横浜国立大学)
齊藤 芳男 (東京大学)
染野 光宏 (公認会計士)

公益社団法人日本表面真空学会 定款 (案)

公益社団法人日本表面真空学会

〒113-0033 東京都文京区本郷 5-25-16

石川ビル 5階

TEL 03-3812-0266 FAX 03-3812-2897

公益社団法人 日本表面真空学会 定款（案）

第1章 総則

（名称）

第1条 この法人は公益社団法人日本表面真空学会と称し、英文名は The Japan Society of Vacuum and Surface Science とし、JVSS と略記する。

（事務所）

第2条 この法人は、主たる事務所を東京都文京区に置く。

2 この法人は、理事会の議決を経て、従たる事務所を必要な地に置くことができる。

（支部）

第3条 この法人は、理事会の議決を経て、必要の地に支部を置くことができる。

第2章 目的及び事業

（目的）

第4条 この法人は、表面と真空に関する科学・技術とその応用についての研究発表、知識の交換、表面科学・真空科学の進歩と人材育成、一般社会への普及・利用促進を図り、もって我が国の学術、産業及び社会の発展と公益の増進に貢献することを目的とする。

（事業）

第5条 この法人は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- （1）研究成果の討議・交流を目的とした学術講演会、研究会等の開催
- （2）教育・育成を目的とした講習会、セミナー等の開催
- （3）研究成果の公開を目的とした学会誌、学術図書及びデータベース等の刊行
- （4）技術者の資格認定・付与
- （5）規格・標準の調査、制定と推進
- （6）その他目的を達成するために必要な事業

2 前項の事業については、本邦および海外で行うものとする。

第3章 会員

（法人の構成員）

第6条 この法人に次の会員を置く。

- （1）個人 正会員 この法人の事業に賛同して入会した個人
- （2）法人 正会員 この法人の目的に賛同して入会した法人企業及び団体
- （3）学生 会員 この法人の事業に賛同して入会した個人で、高等専門学校、短期大学、大学学部、大学院、大学校等の学生である者
- （4）維持 会員 この法人の目的に賛同し、第5条に定める事業を維持する法人
- （5）賛助 会員 この法人の目的に賛同し、第5条に定める事業に賛助する法人
- （6）購読 会員 会誌の購読を目的とする会員

(7) 栄 誉 会 員 表面科学・真空の発展に関して功績が特に顕著な者で、総会の議決をもって推薦された者

2 前項の会員のうち個人正会員及び法人正会員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の社員とする。

(入会)

第7条 会員になろうとする者は、理事会において別に定めるところにより、入会の申し込みを行うものとする。

2 入会は、社員総会において別に定める基準により、理事会において可否を決定し、これを本人に通知する。

3 栄誉会員に推薦された者は入会の手続きを要せず、本人の承諾をもって会員になるものとする。

(会費等)

第8条 この法人の事業活動に経常的に生じる費用に充てるため、会員は、入会金及び会費として、社員総会において別に定める額を支払う義務を負う。

2 栄誉会員は入会金及び会費を納めることを要しない。

3 既納の入会金及び会費は、いかなる事由があっても返還しない。

(任意退会)

第9条 会員は、理事会において定める退会届を提出することにより、任意にいつでも退会できる。

(除名)

第10条 会員が次の各号の一に該当するときは、社員総会の決議によって当該会員を除名することができる。この場合、社員総会で議決する前にその会員に弁明の機会を与えなければならない。

(1) この定款、その他の規則に違反したとき

(2) この法人の名誉を傷つけ、又はこの法人の目的に違反する行為があったとき

(3) その他除名すべき正当な理由があるとき

(会員資格の喪失)

第11条 第9条、第10条の場合の他、会員は、次のいずれかに該当するに至ったときは、その資格を喪失する。

(1) 会費の納入が継続して1年以上なされなかったとき

(2) 死亡し、若しくは失踪宣告を受け、又は法人である会員が解散したとき。

第4章 社員総会

(構成)

第12条 社員総会は、すべての社員をもって構成する。

(権限)

第13条 社員総会は次の事項について決議する。

(1) 入会の基準並びに入会金及び会費の額

(2) 会員の除名

- (3) 理事及び監事の選任及び解任
- (4) 各事業年度の事業報告及び収支決算書の承認
- (5) 貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにこれらの附属明細書の承認
- (6) 定款の変更
- (7) 解散及び残余財産の処分
- (8) 基本財産の処分
- (9) その他社員総会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第14条 社員総会は、定時社員総会として毎年度5月に1回開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招集)

第15条 社員総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき、第22条第2項で定める会長が招集する。

- 2 総社員の議決権の十分の一以上の議決権を有する社員は、会長に対し、社員総会の招集を請求することができる。

(通知)

第16条 社員総会の招集は、少なくとも14日以前に、次の事項を記載した書面をもって通知する。

- (1) 開催の日時及び場所
- (2) 目的たる事項
- (3) その他法令で定める事項

- 2 総社員の十分の一以上の議決権による請求に基づく社員総会招集の通知の発出は、社員総会招集の請求があった日から6週間以内を総会の日とする。
- 3 会長は、書面による招集通知の発出に代えて、社員の承諾を得て、電磁的方法により通知を発出することができる。

(議長)

第17条 定時社員総会の議長は、会長がこれに当たる。会長が欠けたとき、又は会長に事故があるときは、副会長がこれに当たる。

- 2 臨時社員総会の議長は、会議のつど出席社員の互選で定める。

(議決権)

第18条 社員総会における議決権は、1社員につき1個とする。

(決議)

第19条 社員総会の決議は、法令又はこの定款に別段の定めがある場合を除き、総社員の議決権の過半数を有する社員が出席し、出席した社員の過半数をもって行う。

- 2 第1項の規程にかかわらず、次の決議は、総社員の議決権の三分の二以上に当たる多数をもって行う。
 - (1) 会員の除名
 - (2) 監事の解任
 - (3) 定款の変更

- (4) 解散
- (5) 基本財産の処分
- (6) その他、法令で定められた事項

3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。

(書面による議決権、電磁的方法による議決権の行使)

第20条 社員は、議決権行使書面に必要な事項を記載し、社員総会招集通知に記載された期間内にこの法人に提出し、議決権の行使ができる。この場合、書面によって行使した議決権の数は出席した社員の議決権の数に参入する。

2 社員は、議決権行使書面に必要な事項を電磁的方法によりこの法人に提出し、議決権の行使ができる。電磁的方法によって行使した議決権の数は出席した社員の議決権の数に参入する。

(議事録)

第21条 社員総会の議事については、法令に定めるところにより、議事録を作成する。

2 議長及び当該会議において選出された出席者の代表2名以上が、前項の議事録に記名押印する。

第5章 役員

(役員の設定)

第22条 この法人に次の役員を置く。

- (1) 理事 20名以上26名以内
- (2) 監事 2名又は3名

2 理事のうち1名を会長、5名以内を副会長とし、副会長のうち1名を会長代理とする。

3 前項の会長及び会長代理をもって法人法第91条第1項第1号の代表理事とし、代表理事を除く理事全員をもって同法上の業務執行理事とする。

(役員を選任)

第23条 理事及び監事は、社員総会の決議により選任する。

2 特定の理事とその親族その他特別の関係にある者の合計数は、理事現在数の三分の一を超えてはならない。

3 理事及び監事は、相互に兼ねることができない。

4 理事会は、理事の中から会長、会長代理、副会長の選定及び解職を行う。

(理事の職務及び権限)

第24条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

2 代表理事は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行する。業務執行理事は、理事会において別に定めるところにより、この法人の業務を分担執行する。

(監事の職務及び権限)

第25条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

- 2 監事はいつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員任期)

第26条 理事及び監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結時までとし、再任を妨げない。

- 2 補欠として選任された理事または監事の任期は、前任者の任期の満了するときまでとする。
- 3 理事又は監事は、第22条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了、又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利・義務を有する。

(役員解任)

第27条 理事及び監事は、社員総会の決議によって解任することができる。

(報酬等)

第28条 理事及び監事は、無報酬とする。ただし、監事が非会員の場合には、社員総会において別に定める役員の報酬・退職規程による。

第6章 理事会

(構成)

第29条 この法人に理事会を置く。

- 2 理事会は、すべての理事をもって構成する。

(権限)

第30条 理事会は次の職務を行う。

- (1) この法人の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 会長、会長代理及び副会長の選定及び解職

(招集)

第31条 理事会は、会長が招集するものとする。

- 2 会長が欠けたとき、又は会長に事故あるときは、副会長が招集する。

(開催数、議長)

第32条 理事会は、事業年度ごとに5回以上開催する。

- 2 理事から会長に招集の請求があったときには、開催しなければならない。
- 3 理事会の議長は会長がこれに当たる。会長が欠けたとき、または会長に事故あるときは、出席した理事の中から議長を選出する。

(決議)

第33条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数以上が出席し、その過半数をもって行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条の要件を満たしたときは、理事会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第34条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

- 2 出席した代表理事及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

第7章 資産及び会計

(事業年度)

第35条 この法人の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

第36条 この法人の事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類については、毎事業年度開始の日の前日までに、会長が作成し、理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

- 2 前項の書類については、主たる事務所に、当該事業年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(事業報告及び決算)

第37条 この法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、会長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を経て、定時社員総会の承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告書
 - (2) 事業報告の付属明細書
 - (3) 貸借対照表
 - (4) 損益計算書（正味財産増減計算書）
 - (5) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の付属明細書
 - (6) 財産目録
- 2 前項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款および会員名簿を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。
 - (1) 監査報告書
 - (2) 理事及び監事の名簿
 - (3) 運営組織及び事業活動の状況の概要及びこれらに関する数値のうち重要なものを記載した書類
 - (4) 理事及び監事の報酬等の支給の基準を記載した書類

(公益目的取得財産残額の算定)

第38条 会長は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第48条の規程に基づき、毎事業年度、当該事業年度の末日における公益目的取得財産残額を算定し、前条第2項第3号の書類に記載するものとする。

第8章 定款の変更および解散

(定款の変更)

第39条 この定款は、社員総会の決議によって変更することができる。

(解散)

第40条 この法人は社員総会の決議その他法令で定められた事由により解散する。

(公益認定の取り消し等に伴う贈与)

第41条 この法人が公益認定の取り消しの処分を受けた場合、又は合併により法人が消滅する場合であつて、この法人の権利義務を承継する法人が公益法人でない場合には、社員総会の決議を経て、公益目的取得財産残額に相当する額の財産を、当該公益認定の取り消しの日、又は当該合併の日から1箇月以内に、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国もしくは地方公共団体に贈与するものとする。

(残余財産の帰属)

第42条 この法人が解散する場合において有する残余財産は、社員総会の決議を経て、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国もしくは地方公共団体に贈与するものとする。

第9章 公告の方法

(公告の方法)

第43条 この法人の公告は、電子公告により行ふ。

- 2 事故その他やむをえない事由によって前項の電子公告をすることができない場合は、官報に掲載して行ふ。

付 則

- 1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備に関する法律第106条第1項に定める公益法人の設立登記の日から施行する。
- 2 この法人の最初の代表理事は森田清三とする。
- 3 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と、公益法人の設立の登記を行ったときは、第35条の規定にかかわらず解散の登記の日の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。

平成30年度事業計画書 (2018年4月～2019年3月)

1. 研究成果の討議・交流を目的とした学術講演会、研究会等の開催 (第1号事業)

1-1 通常総会

2018年5月13日(予定)、場所;早稲田大学国際会議場

- * 特別講演会 講師;藤嶋昭先生
- * 栄誉会員(名誉会員・功労会員)の推薦
- * 学会賞、功績賞の表彰
- * フェロー 認定
- * 講演奨励賞(若手研究者部門、新進研究者部門、スチューデント部門)の表彰

1-2 2018年日本表面真空学会学術講演会

2018年11月19日～21日、神戸国際会議場

- * 特別講演・招待講演・シンポジウム講演・研究部会セッション講演・オーガナイズドセッション講演・一般講演(口頭およびポスター)
- * 国際シンポジウム(韓国真空学会とのMoUに基づく)
- * 受賞記念講演(学会賞・論文賞・会誌賞・奨励賞・技術賞・熊谷記念真空科学論文賞)および産業賞の展示
- * 講演奨励賞(若手研究者部門・新進研究者部門・スチューデント部門・優秀ポスター賞)の選考
- * 論文賞・会誌賞・奨励賞・技術賞・産業賞・学会賞・真空の匠・フェロー・熊谷記念真空科学論文賞の表彰
- * 登録システム業務契約

1-3 研究会

- * 2018年6月研究例会

2018年6月頃、場所;未定

- * 2018年9月研究例会

2018年9月頃、場所;未定

- * 第9回表面真空科学若手研究会

2018年11月頃、場所;未定

- * 2018年12月研究例会

2018年12月頃、場所;未定

- * 第92回表面真空科学研究会「主題(未定)」

2019年1月頃、場所;未定

- * 第93回表面真空科学研究会「主題(未定)」(中部支部シンポジウム)

2019年1月頃、場所;未定

- * 第66回応用物理学会春季学術講演会シンポジウムへの企画提案

(関西支部主催)

- * 第27回関西支部総会・特別講演会

2018年4月4日、場所;大阪府立大学I-siteなんば

- * 日本表面真空学会 関西支部セミナー2018「物質中を探る科学と技術—溶液や機能性材料のその場観察—」

2018年7月4日、場所;大阪大学 豊中キャンパス

- * 平成30年度第2回講演会(日本真空工業会との合同開催)

日時;未定 場所;未定

- * 実用表面分析セミナー2018

2018年11月15日、場所;神戸大学百年記念館

- * 表面科学技術研究会2019(未定)

- * 第11回関西支部 実用技術セミナー(未定)

- * 関西支部セミナー2019(未定)

(中部支部主催)

- * 支部総会・講演会（平成29年度）
2018年4月21日、場所；名城大学ナゴヤドーム前キャンパス、講演件数；3件、参加人数；30名程度
- * 中部支部第1回研究会「テーマ未定(真空関連)」
2018年10月、場所；未定、講演件数；4件程度、参加人数；30名程度
- * 中部支部第2回研究会「テーマ未定(表面関連)」
2018年11月、場所；未定、講演件数；4件程度、参加人数；30名程度
- * 第18回中部支部学術講演会「若手講演会」
2018年12月、場所；未定、招待講演；1件、一般講演；20件程度、参加人数；30名程度
(講演奨励賞を設置し、学部・修士、博士・ポスドクから数名を表彰予定)
- * 平成30年度中部表面科学シンポジウム（表面科学研究会）「主題（未定）」
2019年1月、場所；未定、講演件数；4件程度、参加人数；40名程度

(関東支部主催)

- * 第3回関東支部講演大会
2018年4月7日、場所；東京工業大学(大岡山)西9号館デジタル多目的ホール
- * 関東支部総会
2018年4月7日、場所；東京工業大学(大岡山)西9号館デジタル多目的ホール
- * 実用顕微評価技術セミナー（本部産学連携委員会・企画委員会と共催）
2018年6月15日（予定）、東京大学小柴ホール（仮）
- * 第9回関東支部セミナー「身近な表面科学（仮）」
2018年10月（予定）、東京もしくは近郊
- * 第10回関東支部セミナー「表面・薄膜分析シリーズ vol.4 電子顕微鏡」
2018年11月（予定） 東京大学 理学部化学本館講堂
- * 第11回関東支部セミナー「主題（未定）」
2018年3月（予定） 真空科学に関するセミナー

(東北・北海道支部主催)

- * 東北・北海道支部総会（平成30年）
2018年4月、場所；札幌，仙台，秋田（テレビ会議を予定）
- * 合同セミナー（共催）
2018年11月頃
- * 東北・北海道支部講演会
2019年3月頃、場所；仙台

(九州支部主催)

- * 九州支部総会・特別講演会
2018年4月8日、福岡工業大学、特別講演会講師；福谷克之先生、出席者30名程度
- * 九州支部学術講演会（九州表面・真空研究会2018）
2018年6月9日、場所；九州工業大学戸畑キャンパス、参加者70名程度
特別講演；未定、招待講演；未定
- * 九州支部セミナー（動画配信含む）「主題（未定）」
日程；未定、場所；未定

1-4 国際事業

- * 表面科学に関する国際シンポジウム（ISSS-9）準備
2020年11月15日～19日、かがわ国際会議場@高松
- * 6学会国際シンポジウム(International Joint Symposium (InJoSy-5) (TVS, KVS, VSJ, SSSJ, AVS, CVS))
"Interfacial Science for Green Innovation" の実施
2018年11月20日（H30年度学術講演会中）
- * 第22回真空国際会議（IVC-22、2022年）準備（日本真空学会と協力）
- * PacSurf2018（2018年12月、ハワイ）の実施協力，若手招待講演者への助成（日本真空学会と合同で実施）
- * 真空科学技術と応用に関する国際連合（IUVSTA）の一員として，理事会・総会へ出席，連合の企画する国際会議等の運営に協力

*VASSCAA-8 (2018年8月、オーストラリア)への招待講演者推薦

*海外在住会員向け情報誌の発行

1-5 研究部会

(ソフトナノテクノロジー研究部会)

*ソフトナノテクノロジー部会主催セミナー (詳細未定)

*学術講演会 部会セッション (詳細未定)

*国際会議への協賛 (詳細未定)

(電極表面科学研究部会)

*固液界面エネルギー変換に関する研究会 (詳細未定)

*学術講演会 部会セッション (詳細未定)

(触媒表面科学研究部会)

*国際シンポジウム”Interfacial Science for Green Innovation”の共催

(2018年真空表面 科学学術講演会開催中(11/20))

招待講演6件 (KVS, CVS, TVS, AVS から各1件, 国内2件)

*触媒表面ワークショップ開催 (触媒学会界面分子変換研究会との共催予定, 5月~6月) テーマ未定
依頼講演5件

(放射光表面科学研究部会)

*合併後の「日本表面真空学会」学術講演会における部会セッションの企画

*表面界面スペクトロスコーピー研究会の共催 (2018年12月頃を予定)。

*放射光表面科学研究部会と SPRUC 顕微ナノ材料研究会の合同シンポジウムの開催
(2019年1~3月頃を予定)

*ISSP Workshop 「SPRING-8 BL07LSU成果報告研究会 (仮題)」の協賛 (2019年3月頃を予定)

(表面分析研究部会)

*学術講演会 部会セッション

2018年11月の学術講演会にて部会セッション開催予定 (詳細未定)

*研究会「テーマ:未定」

2019年1月頃、東京

(摩擦の科学研究部会)

*学術講演会 部会セッション (詳細未定)

*研究部会主催の研究会の実施予定

*ナノトライボロジー研究センターで国内・国際会議企画予定

*ヨーロッパのナノトライボネットワーク (COST) との共同企画

(データ駆動表面科学研究部会)

*部会・学会本体共催セミナー (実践編、それ以外の詳細は未定)

*部会主催セミナーまたは研究会 (詳細未定)

*2018年表面真空学会学術講演会 部会セッション

(プローブ顕微鏡研究部会)

*第38回表面科学学術講演会 部会セッション企画

2018年11月19~21日のうち1日、場所:神戸国際会議場

*会誌『表面と真空』での走査プローブ顕微鏡に関する特集号の企画 (10月号を予定)

*プローブ顕微鏡に関するワークショップの開催

*研究部会会員増強

(スパッタリングおよびプラズマプロセス技術部会)

*第158回定例研究会

2018年6月頃、場所;未定

*第159回定例研究会

2018年8月頃、場所;未定

*第160回定例研究会

2018年10月頃、場所;未定

- * 第161回定例研究会
2018年12月頃、場所；未定
- * 第162回定例研究会
2019年3月頃、場所；未定
- * スパッタリング勉強会
2018年11月頃、場所；未定
- * 第15回スパッタリングおよびプラズマプロセス国際シンポジウム ISSP2019 実行委員会4回程度を予定、場所；未定

(機能薄膜部会)

<ナノ・キャラクタリゼーション専門部会>

- * 第8回研究会
2018年7月4日、場所；札幌（予定）

- * 第9回研究会（詳細未定）

<ナノ構造機能創成専門部会>

- * 第9回研究会（詳細未定）
- * 第10回研究会（詳細未定）

(真空技術調査部会)

- * セミナー・研究会の開催（詳細未定）

1-6 産学連携

- * 産学連携委員会例会：1月、3月、5月、11月の年4回の例会（講演会）（機械振興会館で開催予定）
- * 真空展併催事業としてフォーラム・シンポジウムを開催
（主題「未定」、9月開催予定、場所はパシフィコ横浜を予定）
- * 産学連携委員会例会として7月（予定）に最新真空技術応用現場を見学、交流する。場所は未定

1-7 ダイバーシティ推進委員会

- * 組織体制確立（会員名簿作成、規定等作成）
- * 2018年日本表面真空学会学術講演会（会期：11月19-21日、会場：神戸）にて
キックオフミーティング（ランチ時間）並びに、女性研究者講演セッション（小会議室、午前中3時間程度）を開催希望
- * キックオフに関する記事を学会誌へ投稿

2. 教育・育成を目的とした講習会、セミナー等の開催（第2号事業）

2-1 基礎講座

- * 真空技術超入門講座（3～4回）
2018年4月～6月頃，場所：中部大、名工大、三重大、名大、豊橋技科大(各大学毎に開催)
- * 第54回 真空技術基礎講習会
2018年5月22日（火）～25日（金），場所：大阪産業技術研究所
- * 営業職・文系にも役立つ真空技術講座
2018年5月頃，場所：（仮）高エネルギー加速器研究機構
- * 第65回表面科学基礎講座「表面・界面分析の基礎と応用」
2018年6月26日～28日、場所；東京理科大学神楽坂キャンパス
- * 第10回役に立つ真空技術入門講座
2018年8月23日、24日、場所；大阪電気通信大学 駅前キャンパス（予定）
- * 第58回真空夏季大学
2018年8月28日（火）～31日（金），場所：つま恋リゾート 彩の郷
- * 真空夏季大学応用技術講座（4講座）
2018年8月31日（金），場所：つま恋リゾート 彩の郷
- * 真空技術講座（3回）
2018年9月5日（水）～7日（金），場所：パシフィコ横浜（真空展併設）

- * 薄膜の基本技術講座（3回）
2018年9月5日（水）～7日（金），場所：パシフィコ横浜（真空展併設）
- * 第9回社会人のための表面科学ベーシック講座
2018年9月頃、場所；東京理科大学森戸記念館
- * 出張真空講座（2回）
2018年9月頃，場所：講義依頼メーカ
- * 第66回表面科学基礎講座「表面・界面分析の基礎と応用」
2018年10月18日～19日、場所；未定
- * 真空技術演習講座
2018年10月頃，場所：未定
- * スパッタリングおよびプラズマプロセス技術部会（SP 部会）技術講習会
2018年未定，場所：未定

2-2 セミナー

- * 実用顕微評価技術セミナー2018（産学連携委員会・関東支部との合同企画）
2018年6月、場所；東京大学小柴ホール
- * 学術講演会スクールコース
2018年11月開催の学術講演会期間中に開催予定
- * 表面科学セミナー2019
「実践! マテリアルインフォマティクス 実際の作業を通して身につける材料データ科学」
2019年1月頃、場所；未定
- * 第4回 関西支部スクールコース
2018年未定，場所：未定

2-3 市民講座

- * 中部支部市民講座「講演内容；未定」
2018年7月、場所；未定、講演件数；4 件、参加人数；30 名程度（予定）
- * 小学生，中学生向け真空実験講座（2～3回）
2018年8月25日（土）～26 日（日），9 月，場所：工学院大学，東京学芸大学，他
- * 第20回関西支部市民講座「講演内容；未定」
2018年8月、場所；未定
- * 関東支部市民講座（第9回関東支部セミナーと併催）「身近な表面科学（仮）」
2018年10月（予定）、東京もしくは近郊
- * 東北・北海道支部市民講座(2018 年)「講演内容；未定」
2018年11月頃、場所；秋田
- * 九州支部市民講座「講演内容；未定」
日程；未定、場所；福岡県北九州市（予定）、参加者30名程度

3. 研究成果の公開を目的とした学会誌、学術図書及びデータベース等の刊行（第3号事業）

3-1 会誌「表面と真空（正式名称：Vacuum and Surface Science）」

- * 会誌「表面と真空（正式名称：Vacuum and Surface Science）」の刊行 年間12号
- * 電子版「Vacuum and Surface Science（表面と真空）」の刊行

3-2 電子ジャーナル「e-Journal of Surface Science and Nanotechnology」

- * 通常論文の公開出版
- * 各種国際シンポジウム会議録の刊行（ISSS-8、ALC ' 17 他）
- * 出版ガイドライン、誌面デザイン、付加機能、企画等、本誌の魅力を高めるための方策の多面的な検討と実施

3-3 出版

- * 「Compendium of Surface and Interface Analysis」の出版を行う
最終稿の査読校正終了予定；2018年3月、出版予定；2018年中
- * 「表面分析図鑑」の新編集を行う

- 3-4 バーチャル表面科学・ナノテクノロジー博物館の開設
- * 『表面科学の殿堂』, 『身近な表面科学』の予定項目の順次公開
 - * 他の各展示内容の拡充

- 3-5 表面分析事例のデータベース公開
- * 公開可能な事例の収集・整理

4. 技術者の資格認定・付与 (第4号事業)

4-1 認証事業

- * 第16回表面科学技術者資格認定試験 (東京会場)
2018年8月8日、場所; 東京大学小柴ホール
- * 第17回表面科学技術者資格認定試験 (大阪会場)
2018年11月10日、場所; 島津製作所関西支社マルチホール
- * 第7回表面科学専門技術者資格認定試験
2018年9月8日、場所; 筑波大学茗荷谷キャンパス (予定)
- * 第4回表面科学上級技術者資格認定試験
2018年9月8日、場所; 筑波大学茗荷谷キャンパス (予定)
- * 第16回真空技術者資格認定試験, 真空技術者1級, 2級
2018年10月27日, 場所; 機械振興会館 (東京会場), 科学技術センター (大阪会場)
- * 第12回真空技術者資格認定, 真空主任技術者
2018年10月; 書類審査

5. 規格・標準の調査、制定と推進 (第5号事業)

- * 規格標準報告会の開催
2018年9月
- * 規格・標準委員会の開催 (予定5回、日本真空工業会 規格標準委員会と合同)
- * 個別ISO 及びJIS に関わる検討会の開催 (予定5回)
- * ISO/TC 112 (真空技術) 総会への日本代表の派遣 (開催時期、開催地共に未定)
- * ISO 規格の制改定に関わる調査と推進、及び制改定の各段階において日本の意見を反映を図る
- * JIS 規格の制改定に関わる調査と推進
- * 真空規格の調査、制改定、及び推進

6. その他目的を達成するために必要な事業 (第6号事業)

6-1 産業界との連携

- * 法人正会員・維持会員・賛助会員の増強策に関して検討
- * 会誌広告掲載の勧誘
- * 本学会に関係する企業が参画する学術講演会、研究会等における企業展示会等を支援する
- * 真空展を日本真空工業会と協力して開催する。
2018年9月にパシフィコ横浜での開催を予定。

6-2 広報

- * 個人会員の増強促進のための施策 (入会者と紹介者へ景品を進呈)
- * 学会ウェブサイト管理およびコンテンツの充実

6-3 理事会で認められた事業

- * 各種委員会等での検討をもとに理事会で承認した事業

H30年度正味財産増減予算案(2018年4月1日～2019年3月31日)

	H30年度予算		
	公益目的事業会計	法人会計	総合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	5,000	0	5,000
受取利息	5,000	0	5,000
受取会費	22,670,600	8,867,400	31,538,000
個人正会員	11,698,200	4,987,800	16,686,000
学生会員	620,200	265,800	886,000
法人正会員	7,415,000	2,355,000	9,770,000
法人会員入会金	7,000	3,000	10,000
維持会員	700,000	300,000	1,000,000
賛助会員	1,414,000	606,000	2,020,000
購読会員	816,200	349,800	1,166,000
事業収益	42,151,000	0	42,151,000
受取参加費	25,521,000	0	25,521,000
受取広告料	7,620,000	0	7,620,000
受取ブース出展料	3,550,000	0	3,550,000
受取投稿料	360,000	0	360,000
受取別刷頒布代	2,720,000	0	2,720,000
受取会誌頒布代	1,440,000	0	1,440,000
受取出版物頒布	340,000	0	340,000
受取著作権料	150,000	0	150,000
受取出版物印税	450,000	0	450,000
受取補助金等	787,000	0	787,000
雑収益	250,000	2,505	252,505
受取利息	0	2,505	2,505
その他収益	250,000	0	250,000
経常収益計	65,863,600	8,869,905	74,733,505
(2) 経常費用			
事業費	66,594,299	0	66,594,299
給料手当	11,880,000	0	11,880,000
臨時雇賃金	1,100,000	0	1,100,000
福利厚生費	2,070,000	0	2,070,000
退職共済掛金	108,000	0	108,000
会議費	1,418,000	0	1,418,000
旅費交通費	6,115,000	0	6,115,000
通信運搬費	4,236,000	0	4,236,000
消耗品費	820,300	0	820,300
印刷製本費	12,906,000	0	12,906,000
諸謝金	6,902,247	0	6,902,247
租税公課	1,200,000	0	1,200,000
光熱水料費	270,000	0	270,000
支払負担金	547,000	0	547,000
委託費	1,800,000	0	1,800,000
雑費	2,305,868	0	2,305,868
会場費	7,471,000	0	7,471,000
賃借料	3,960,000	0	3,960,000
支払手数料	331,884	0	331,884
リース料	1,153,000	0	1,153,000
管理費	0	7,772,000	7,772,000
役員報酬	0	200,000	200,000
給料手当	0	1,320,000	1,320,000
臨時雇賃金	0	5,000	5,000
退職引当繰入額	0	500,000	500,000
福利厚生費	0	230,000	230,000
退職共済掛金	0	12,000	12,000
会議費	0	3,350,000	3,350,000
旅費交通費	0	85,000	85,000
通信運搬費	0	120,000	120,000

H30年度正味財産増減予算案(2018年4月1日～2019年3月31日)

消耗品費	0	56,500	56,500
印刷製本費	0	56,000	56,000
光熱水料費	0	30,000	30,000
リース料	0	67,000	67,000
賃借料	0	440,000	440,000
租税公課	0	70,500	70,500
支払手数料	0	30,000	30,000
支払報酬	0	600,000	600,000
雑費	0	300,000	300,000
雑損失	0	300,000	300,000
経常費用計	66,594,299	7,772,000	74,366,299
当期経常増減額	△ 730,699	1,097,905	367,206
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	35,000,000	0	35,000,000
合併による財産受入収益	35,000,000	0	35,000,000
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	35,000,000	0	35,000,000
当期一般正味財産増減額	34,269,301	1,097,905	35,367,206
一般正味財産期首残高			48,643,882
一般正味財産期末残高			84,011,088
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	10,000,000	10,000,000
合併による財産受入収益	0	10,000,000	10,000,000
指定正味財産期首残高			33,393,504
指定正味財産期末残高			43,393,504
III 正味財産期末残高			127,404,592

一般社団法人日本真空学会 平成 29 年度 事業報告

自 平成 29 年 4 月 1 日
至 平成 30 年 3 月 31 日

(1) 会員異動

1) 個人会員

29. 3. 31 現在 588 名 (うち学生会員 89 名)
 入会 42 名 (" 27 名)
 退会 84 名 (" 50 名)
 30. 3. 31 現在 546 名 (うち学生会員 65 名) ※1 名学生会員→正会員に変更

2) 法人会員

	29. 3. 31 現在		30. 3. 31 現在				
	口数	会員数	口数	会員数	年間会員数増減	口数	年間口数増減
9	1	9	1		0	9	0
8	0	0	0		0	0	0
7	0	0	0		0	0	0
6	2	12	2		0	12	0
5	5	25	5		0	25	0
4	0	0	0		0	0	0
3	4	12	4		0	12	0
2	2	4	2		0	4	0
1	105	105	104		+4 △5	104	+4 △5
計	119	167	118		+4 △5	166	+4 △5

3) 特別会員

29. 3. 31 現在 52 口
 入会 1 口
 退会 9 口
 30. 3. 31 現在 44 口

(2) 総会 1 回 (6 月 8 日開催)

(3) 理事会等

- ・理事会 5 回
- ・協議員会 1 回
- ・日本真空工業会理事会へ派遣 4 回
- ・IUUSTA 理事会 (ECM) へ派遣 2 回

(4) 委員会

- ・事業計画委員会 3 回
- ・財務委員会 1 回
- ・教育委員会 4 回
- ・編集委員会 7 回 (内合同編集委員会 5 回)
- ・講演・研究会企画委員会 4 回 (他メール審議 6 回)
- ・産学連携委員会 (幹事会) 5 回
- ・規格・標準委員会 5 回
- ・広報委員会 0 回
- ・国際委員会 1 回
- ・真空技術者資格認定委員会 (日本真空工業会と合同) 3 回

(5) 部会

- ・スパッタリングおよびプラズマプロセス技術部会 (幹事会) 5 回
- ・機能薄膜部会 0 回
- ・真空技術調査部会 0 回

(6) 会議等

- ・日本表面科学会とのトップ会合 1回
- ・日本真空工業会とのトップ会合 1回
- ・表彰審査会 1回
- ・顕彰審査会 1回
- ・規格標準合同検討委員会（日本真空工業会と合同） 5回
- ・JIS改正原案作成委員会本委員会 3回
- ・JIS改正原案作成委員会分科会 2回
- ・ISO/CD 21360-4の検討会 1回
- ・ISO/CD 21360-3への日本の対応の協議 1回
- ・ポンプ関係ISOの定期見直しに関する検討会 1回
- ・真空技術者試験委員会 7回
- ・日本真空工業会教育委員会へ派遣 5回
- ・合併説明会 1回
- ・合併準備委員会 3回
- ・合同合併作業委員会 1回
- ・合併契約調印式 1回
- ・2017年真空・表面科学合同講演会 合同実行委員会 1回
(他直前打合せ1回, メール審議・報告1回)
合同プログラム委員会 1回
- ・2018年日本表面真空学会学術講演会 プログラム委員会 1回
- ・第39回「VACUUM2017 真空展」展示委員会 4回
- ・第40回「VACUUM2018 真空展」展示委員会 3回
- ・ISSP2017 国際会議実行委員会 2回
- ・ISSP2019 国際会議実行委員会 1回

(7) 事業

1) 機関誌「Journal of the Vacuum Society of Japan」 9回発行

- ・小特集
- 4号「第57回真空に関する連合講演会論文集」
- 5号「走査トンネル顕微鏡による磁性研究」
- 6号「真空基礎講座 2017」
- 7号「低温表面における水と氷の物理と化学」
- 8号「真空科学の最前線」
- 9号「高電力パルススパッタ (HiPIMS)」
- 10号「ポテンシャルイメージング」
- 11号「人と地球に嬉しい真空技術」
- 12号「第58回真空に関する連合講演会論文集」

機関誌「表面と真空（正式名称 Vacuum and Surface Science）」 3回発行

- ・小特集
- 1号「学会誌合併創刊号—過去を振り返り、未来を共に歩む—」
- 2号「表面洗浄技術」
- 3号「液中プラズマの生成とその応用」

2) 2017年真空・表面科学合同講演会(第58回真空に関する連合講演会)

(日本表面科学会と合同で開催) 8月17日～19日 (横浜市立大学金沢八景キャンパス)

参加者: 546名

講演構成: 306件

- ・基調講演: 2件
- ・真空学会受賞記念講演: 3件
- ・表面科学会受賞記念講演: 7件
- ・合同シンポジウム「バイオ表面・界面, 細胞, 生体組織のオペランド計測»: 5件
- ・合同シンポジウム「新材料・新表面技術を切り拓くプラズマプロセス»: 6件
- ・合同シンポジウム「原子層堆積法 (ALD)・原子層エッチング法 (ALE) の最前線»: 6件
- ・合同シンポジウム「低次元超伝導の新展開»: 5件

- ・オーガナイズドセッション「真空誌60年と学会誌の将来」：6件
 - ・真空口頭発表（合同含む7セッション）：36件（招待講演8件を含む）
 - ・表面口頭発表（合同含む18セッション）：144件（招待講演8件を含む）
 - ・真空ポスター発表：39件
 - ・表面ポスター発表：50件
 - ・企業展示：35小間（真空22社22小間，表面13社13小間）
 - ・企業プレゼンテーション・企業セミナー：13社（真空12社，表面1社）
- 関連行事：
- ・第58回真空に関する連合講演会優秀ポスター賞：1件
発表：アナターゼTiO₂(101)表面に吸着したCO₂の大増強赤外吸収
受賞者：山川絃一郎，長塚直樹，小倉正平，福谷克之
 - ・スクールコース「表面科学研究のための超高真空技術」8月19日
（横浜市立大学金沢八景キャンパス）1名参加
- 3) 第57回真空夏季大学
- ・8月29日～9月1日（帝人アカデミー富士）84名参加
 - ・9月1日 真空応用技術講座（帝人アカデミー富士）58名参加
「プロセスプラズマの基礎」16名参加
「真空システム」14名参加
「圧力分布計算ソフトウェアMolflow+講習」14名参加
「非蒸発ゲッターコーティング」14名参加
- 4) 第53回真空技術基礎講習会
- ・5月23日～26日（大阪産業技術研究所）45名参加
- 5) 真空技術者資格認定試験（第15回）11月11日
- 東京：機械振興会館，大阪：大阪科学技術センター
- 受験者数 1級72名，2級117名
合格者数 1級27名，2級49名
真空主任技術者認定 8名
- 6) 第14回スパッタリングおよびプラズマプロセス国際シンポジウム ISSP2017
The 14th International Symposium on Sputtering and Plasma Processes, ISSP2017
7月5日～7日（金沢工業大学）211名参加（日本含む17カ国，海外66名）
- ・招待講演8件，一般口頭発表31件，ポスター発表79件 合計118件
 - ・ポスター賞2件授与
 - ・企業展示20社
- 7) 顕彰・表彰：授与式 8月18日（横浜市立大学金沢八景キャンパス）
- 顕彰
- ・第4回学会賞 顕彰者：安田幸夫
 - ・第5回真空の匠 該当者なし
 - ・第4回フェロー 顕彰者：後藤康仁
 - ・第4回フェロー 顕彰者：本田 融
- 表彰
- ・第42回熊谷記念真空科学論文賞 該当者なし
 - ・第42回真空技術賞
業績：極高真空冷陰極電界放出電子銃の開発
受賞者：糟谷圭吾，大嶋 卓，片桐創一，川崎 猛
 - ・第42回真空技術賞
業績：大電流電子・陽電子加速器用超高真空システムの開発
受賞者：末次祐介，柴田 恭，石橋拓弥，白井 満，照井真司，金澤健一，久松広美
 - ・第26回真空進歩賞 該当者なし
 - ・第6回真空会誌賞
業績：[解説]フィールドエミッタアレイの新しい応用技術～耐熱・耐放射線素子や光源応用に向けて～ J. Vac. Soc. Jpn., 60 (2017) 55.
受賞者：後藤康仁
- 8) 第39回「VACUUM2017 真空展」（日本真空工業会と共催）9月6日～8日
開催規模：78社・団体 171小間 来場者数：16,018名

真空学会企画事業

- ・大学・公的機関における真空科学・技術・応用の最先端研究紹介 25件
- ・9月7日 学生ツアー 15名参加（豊橋技術科学大学，成蹊大学，東京理科大学，日本大学，東海大学，千葉工業大学，早稲田大学，芝浦工業大学，学習院大学）
- ・9月6日～8日 スクールコース「真空技術中級講座」 17，22，25名参加
- ・9月6日～8日 スクールコース「薄膜の基本技術講座」 12，34，36名参加
- ・9月8日 規格標準報告会「国際標準化の動向と，真空技術関連のISO規格とJIS規格の開発状況について」 34名参加
- ・9月8日 真空フォーラム・シンポジウム2017「薄膜の最前線」 75名参加

9) 研究例会

- ・6月23日「真空技術と極低温技術」 36名参加（機械振興会館）
- ・9月26日「真空技術が切り拓く光・電子・プラズマの最先端」 70名参加（愛媛大学）
同日開催 真空技術入門講座「真空技術の基礎と応用」 50名参加
- ・12月5日「金属積層造形技術の現状と展開」 24名参加（機械振興会館）
- ・1月18日「硬X線光電子分光の産業利用への展開と将来展望」（日本表面科学会と合同）
35名参加（機械振興会館）

10) 産学連携委員会例会

- ・5月24日 34名参加（機械振興会館）
 1. 株式会社トヤマにおける高真空化への取り組み 及び分析装置群の紹介
 2. 高分解能質量イメージング装置と環境試料，機能性材料，バイオ方面への応用
同日開催 技術交流会（ポスターセッション） 31名参加
- ・7月21日 見学会 41名参加 訪問先：株式会社トヤマ
- ・9月8日 真空展併催 真空フォーラム・シンポジウム2017「薄膜の最前線」 75名参加（パシフィコ横浜）
 1. なかなか聞けない膜の話
 2. デバイス開発のための表面界面分析技術と薄膜材料評価
 3. 薄膜の表面・界面への元素偏析現象や仕事関数の予測：マテリアルキュレーション
 4. 薄膜を見える化する『SPMによる表面・断面観察と物性評価』
- ・11月27日 31名参加（機械振興会館）
 1. 新日鐵住金の低合金耐食鋼（ARU-TEN）について
 2. 最先端金属積層造形（金属3Dプリンター）の紹介－電子ビーム積層造形技術を中心として－
- ・1月29日 30名参加（機械振興会館）
 1. 国際宇宙ステーションの活用事例と最新動向について～ソリューションツールとしての宇宙環境～
 2. 超小型衛星が拓く低コスト・迅速な宇宙開発利用
- ・3月12日 34名参加（機械振興会館）
 1. 日本真空工業会の歴史と活動～日本表面真空学会とのコラボレーションの期待～
 2. 真空学会60年：そして未来へ

11) S P 部会 定例研究会，技術講習会，勉強会，技術交流会

- ・5月19日「第153回定例研究会：エネルギー材料（蓄電，省エネ）技術の最前線」
61名参加（信州大学（長野）工学キャンパス）
- ・8月21日「第154回定例研究会：最新のフレキシブルデバイスと展望」
34名参加（機械振興会館）
- ・10月31日「第155回定例研究会：固体材料および薄膜中のプロトンの移動」
29名参加（機械振興会館）
- ・11月17日「平成29年度技術講習会：～プロセスプラズマの基礎，スパッタリング法の基本，そして薄膜応力と付着～」 24名参加（機械振興会館）
- ・11月30日「第1回勉強会：薄膜堆積プロセスにおける相平衡を考える～蒸発と薄膜堆積における平衡～あるいは基板・薄膜との相互作用を理解する」
9名参加（金沢工業大学東京事務所）
- ・12月14日「第14回技術交流会」「第156回定例研究会」 32名参加（機械振興会館）
- ・3月13日「第157回定例研究会：圧電デバイスとその応用」 52名参加（機械振興会館）
- ・S P 部会賞 該当者なし

- 12) 機能薄膜部会
 ・6月29日「ナノ構造機能創成専門部会 第7回研究会:HiPIMSプラズマプロセスと薄膜」
 58名参加(東京工業大学)
 ・11月16日「ナノ構造機能創成専門部会 第8回研究会:ナノ構造機能化による医用・生
 体材料の開発」33名参加(成蹊大学)
- 13) 出張真空技術講座
 ・5月16,17日 13名参加(北陸地区)
 ・9月13日 12名参加(関西地区)
 ・9月19日 6名参加(東海地区)
 ・1月26日 10名参加(関東地区)
- 14) 真空技術演習講座
 ・10月13日 7名参加(機械振興会館)
- 15) 営業職・文系にも役立つ真空技術講座
 ・5月26日 64名参加(高エネルギー加速器研究機構)
 ・10月6日 6名参加(機械振興会館)
- 16) 第65回応用物理学会春季学術講演会シンポジウムの企画・提案
 ・3月18日「イオンビームと表面分析:二次イオン質量分析法(SIMS)の最近の進歩と有
 機分析への応用」(早稲田大学西早稲田キャンパス) 約35名参加
- 17) 第8回真空・表面科学若手研究会
 ・2017年10月27日(つくばイノベーションプラザ)
- 18) 真空科学ハンドブック 2018年3月30日刊行(コロナ社)
- 19) 他学協会・団体等からの依頼
 協賛 46回, 後援 1回, 共催 1回

(8) 支部

1) 関西支部

- ① 総会 1回
 ② 役員会 4回
 ③ 講演会 2回

- ・4月3日 2017年度第1回講演会「半導体及び金属表面研究と真空」
 32名参加(島津製作所関西支社マルチホール)
- ・9月28日 日本真空工業会関西支部・日本真空学会関西支部秋季合同講演会
 1. 「データからみる世界と日本の経済・社会の本当の姿」
 2. 「深紫外LEDのためのAlN/sapphire基板開発」
 日本真空学会関西支部より19名参加(ホテル大阪ベイタワー)

④ 研究会 1回

- ・6月24日 九州表面・真空研究会2017「新奇な薄膜・表面現象とその応用の最前線」
 (日本表面科学会九州支部と共催) 42名参加(佐賀大学)
 特別講演:1件 「全ての道は表面に通ずるー表面を制する者は科学・工学を制するー」
 招待講演:1件 「放射光解析に基づく量子物質開発"Materials by design"」
 一般講演:18件

⑤ 講習会 3回

- ・5月23日~26日 第53回真空技術基礎講習会(日本真空工業会関西支部, 大阪府技術
 協会と共催) 45名参加(大阪産業技術研究所 本部・和泉センター)
- ・8月24日~25日 第9回役に立つ真空技術入門講座 44名参加(大阪電気通信大学駅
 前キャンパス)
- ・8月25日 スクールコース「ディスプレイ, 半導体産業, 成膜, 表面分析のための超高真
 空技術」 11名参加(大阪電気通信大学駅前キャンパス)

⑥ セミナー 2回

- ・7月6日 日本真空学会関西支部, 日本表面科学会関西支部合同セミナー2017
 「水素の挙動と物質科学ー最近の展開ー」(日本表面科学会関西支部との合同
 開催) 69名参加(大阪大学中之島センター)
- ・1月26日 第10回実用技術セミナー「ーここにもあった, 人と地球に嬉しい真空技術ー」
 30名参加(島津製作所関西支社マルチホール)

2) 東海支部

- ① 総会 1回
- ② 支部役員会 4回
- ③ 講演会 1回
 - ・4月22日 日本表面科学会中部支部・日本真空学会東海支部合同講演会
37名参加（名城大学）
- ④ 研究会 3回
 - ・7月4日「太陽電池と真空技術」10名参加（岐阜大 サテライトキャンパス）
協賛：応用物理学会東海支部，日本表面科学会中部支部
 - ・12月2日「真空技術が拓く窒化物半導体研究の最前線」18名参加
（三重大 工学部）
協賛：応用物理学会東海支部，日本表面科学会中部支部
 - ・2月15日「真空と光学」10名参加（浜松ホトニクス 中央研究所）
協賛：応用物理学会東海支部，日本表面科学会中部支部，浜松ホトニクス(株)
- ⑤ 講習会 5回
 - ・4月12日 第4回真空技術 超 入門講座 18名参加（中部大学）
 - ・5月12日 第4回真空技術 超 入門講座 76名参加（名古屋工業大学）
 - ・5月19日 第4回真空技術 超 入門講座 56名参加（三重大学）
 - ・6月21日 真空技術 超 入門講座 in 豊橋 23名参加（豊橋技術科学大学 ベンチャー・
ビジネス・ラボラトリー）
- ⑥ 説明会 1回
 - ・4月22日 日本真空学会と日本表面科学会の合併に関する説明会 16名参加
（名城大学ナゴヤドーム前キャンパス）

平成29年度会計報告

貸借対照表

平成 30年3月31日 現在

一般社団法人日本真空学会

(単位:円)

科 目	金 額		増 △ 減
	H.29.3.31	H.30.3.31	
借方の部			
現金・預金	42,027,704	50,506,141	8,478,437
現金	(573,482)	(337,031)	(△ 236,451)
普通預金	(41,454,222)	(50,169,110)	(8,714,888)
未収金	1,004,680	1,348,614	343,934
敷 金	2,247,800	0	△ 2,247,800
前払金	1,431,265	80,453	△ 1,350,812
仮払金	0	75,849	75,849
退職給付引当資産	2,755,000	0	△ 2,755,000
国際会議積立資産	500,000	500,000	0
合 計	49,966,449	52,511,057	2,544,608
貸方の部			
未払金	612,529	2,566,226	1,953,697
預り金	324,721	11,837,398	11,512,677
退職給付引当金	2,755,000	0	△ 2,755,000
国際会議積立金	500,000	500,000	0
基金	39,172,254	39,172,254	0
次月繰越金	6,601,945	△ 1,564,821	△ 8,166,766
合 計	49,966,449	52,511,057	2,544,608

収支計算書

自 平成29年 4月 1日

至 平成30年 3月31日

(単位:円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期より繰越	6,601,945		
会費収入	1,990,000	管理費	14,862,031
事業収入	38,460,416	運営費	37,756,944
雑収入	4,001,793		
		次月繰越	△ 1,564,821
計	51,054,154	計	51,054,154

予算・決算対照表

[収入の部]

(単位:円)

科 目	H29年度予算	H29.4.1～ H30.3.31現在	予算残
前期より繰越	6,601,945	6,601,945	0
会費収入	14,236,000	1,990,000	12,246,000
個人会員会費	5,070,000	1,040,000	4,030,000
学生会員会費	156,000	90,000	66,000
法人会員会費	8,350,000	700,000	7,650,000
特別会員会費	650,000	120,000	530,000
法人会員入会金	10,000	40,000	△ 30,000
事業収入	33,958,000	38,460,416	△ 4,502,416
研究例会参加費	450,000	198,000	252,000
真空夏季大学参加費	6,000,000	6,725,600	△ 725,600
真空応用技術講座参加費	450,000	793,080	△ 343,080
広告費	6,500,000	6,398,640	101,360
連合講演会参加費等	2,390,000	3,034,600	△ 644,600
産学連携委員会収入	381,000	309,000	72,000
関西支部事業収入	688,000	811,000	△ 123,000
東海支部事業収入	140,000	82,000	58,000
SP部会会費収入	1,980,000	1,935,000	45,000
SP部会事業収入	530,000	611,500	△ 81,500
機能薄膜部会参加費	20,000	83,000	△ 63,000
ISSP事業収入	6,074,000	8,683,120	△ 2,609,120
真空技術者認定試験	2,570,000	3,152,030	△ 582,030
関西基礎講習会	2,665,000	2,672,000	△ 7,000
教育委員会講習会参加費	1,700,000	1,581,900	118,100
会誌収入	1,420,000	1,389,946	30,054
購読料	(500,000)	(175,216)	(324,784)
別刷代	(720,000)	(899,800)	(△ 179,800)
冊子代	(40,000)	(39,530)	(470)
投稿料	(160,000)	(275,400)	(△ 115,400)
雑収入	1,137,815	4,001,793	△ 2,863,978
受取利息	815	445	370
補助金	787,000	747,514	39,486
雑収入	350,000	3,253,834	△ 2,903,834
今期計	49,331,815	44,452,209	4,879,606
合 計(前期繰越+今期計)	55,933,760	51,054,154	4,879,606

[支出の部]

(単位:円)

科 目	H29年度予算	H29.4.1～ H30.3.31現在	予算残
管 理 費	11,946,000	14,862,031	△ 2,916,031
給与	4,200,000	6,067,372	△ 1,867,372
退職給与引当金	400,000	400,000	0
通勤費	297,000	297,840	△ 840
福利厚生費	1,072,000	1,220,902	△ 148,902
事務所費	3,000,000	3,013,665	△ 13,665
旅費交通費	10,000	0	10,000
通信費	350,000	377,705	△ 27,705
事務雑費	520,000	793,353	△ 273,353
事務機器リース費	798,000	960,339	△ 162,339
総会費	299,000	315,629	△ 16,629
理事会費	1,000,000	1,415,226	△ 415,226
運 営 費	37,366,000	37,756,944	△ 390,944
委員会運営費	6,512,000	5,749,621	762,379
事業計画委員会	(1,350,000)	(688,499)	(661,501)
財務委員会	(10,000)	(2,720)	(7,280)
教育委員会	(180,000)	(209,211)	(△ 29,211)
編集委員会	(260,000)	(333,496)	(△ 73,496)
講演・研究会企画委員会	(214,000)	(179,984)	(34,016)
産学連携委員会	(559,000)	(675,669)	(△ 116,669)
規格・標準委員会	(550,000)	(560,984)	(△ 10,984)
広報委員会	(30,000)	(0)	(30,000)
国際委員会	(990,000)	(633,716)	(356,284)
真空技術者資格認定委員会	(1,810,000)	(1,906,342)	(△ 96,342)
資格試験事務経費	(559,000)	(559,000)	(0)
関西支部	1,273,000	1,294,759	△ 21,759
東海支部	396,000	185,346	210,654
SP部会	2,299,000	2,276,792	22,208
定例会・幹事会運営費	(1,737,000)	(1,576,502)	(160,498)
技術講習会	(162,000)	(300,290)	(△ 138,290)
事務経費	(400,000)	(400,000)	(0)
機能薄膜部会	100,000	286,439	△ 186,439
真空技術調査部会	90,000	0	90,000
ISSP運営費	3,765,000	4,663,552	△ 898,552
ISSP事務経費	1,785,000	200,000	1,585,000
研究例会運営費	207,000	279,183	△ 72,183
連合講演会運営費	1,790,000	1,686,287	103,713
真空夏季大学運営費	4,800,000	5,092,821	△ 292,821
教育委員会関連事業事務経費	1,575,000	1,575,000	0
教育委員会講習会運営費	790,000	1,196,008	△ 406,008
関西基礎講習会	2,398,000	2,243,461	154,539
真空・表面若手研究会	210,000	35,602	174,398
表彰関係費	300,000	349,793	△ 49,793
顕彰関係費	150,000	83,997	66,003
会誌発行費	5,196,000	6,735,927	△ 1,539,927
印刷費	(4,200,000)	(5,776,973)	(△ 1,576,973)
送料	(996,000)	(958,954)	(37,046)
編集・広報業務委託費	3,120,000	3,309,228	△ 189,228
J-STAGE利用料	40,000	33,156	6,844
真空展ワーキング	20,000	1,300	18,700
管理費(租税公課)	550,000	478,672	71,328
予 備 費	19,815	0	19,815
計	49,331,815	52,618,975	△ 3,287,160
次 期 繰 越	6,601,945	△ 1,564,821	—
合 計	55,933,760	51,054,154	4,879,606

監査報告書

一般社団法人日本真空学会
会長 荒川 一郎 殿

一般社団法人日本真空学会

監事 浦野 智秋 

監事 尾浦 憲治郎 

私たち監事は、一般社団法人日本真空学会（平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで）の会計及び業務の監査を行いました。その結果につき次のとおり報告します。

1. 監査の方法の概要

- 会計監査については、会計帳簿及び関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて、財務諸表などの正確性を検討しました。
- 業務監査については、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を徴収し、関係書類など必要と思われる監査手続を用いて、業務執行の妥当性を検討しました。

2. 監査意見

- 貸借対照表、正味財産増減計算書、正味財産増減計算書内訳表、財務諸表に対する注記、附属明細書及び財産目録は、会計帳簿の金額と一致し、法人の収支状況及び財政状況を正しく示しているものと認めます。
- 事業報告書の内容は、真実であると認めます。
- 理事の業務執行に関する不正の行為又は定款に違反する重大な事実はないと認めます。

以上

